
令和7年 第2回(定例)日 出 町 議 会 会 議 録(第3日)

令和7年6月5日(木曜日)

議事日程(第3号)

令和7年6月5日 午前10時00分開議

開議の宣告

日程第1 一般質問

散会の宣告

本日の会議に付した事件

開議の宣告

日程第1 一般質問

散会の宣告

出席議員(15名)

1 番	多田 利浩君	2 番	阿部 峰子君
3 番	河野 美華君	4 番	岡山 栄蔵君
5 番	豊岡 健太君	7 番	衛藤 清隆君
8 番	阿部 真二君	9 番	上野 満君
10 番	川西 求一君	11 番	岩尾 幸六君
12 番	池田 淳子君	13 番	工藤 健次君
14 番	森 昭人君	15 番	熊谷 健作君
16 番	金元 正生君		

欠席議員(なし)

欠 員(1名)

事務局出席職員職氏名

局長	河野 匡位君	次長	橋本 樹輝君
----	--------	----	--------

説明のため出席した者の職氏名

町長	……………	安部 徹也君	教育長	……………	恒川 英志君
総務課長	……………	高橋 康治君	財政課長	……………	河野 明弘君
政策企画課長	……………	赤野 公彦君	まちづくり推進課長	…	坂西 和宏君
税務課長	……………	成富 祥史君	住民生活課長	……………	佐藤功次郎君
介護福祉課長	……………	間部 大君	子育て支援課長	……………	白水由希子君
健康増進課長	……………	後藤 将児君	農林水産課長兼農業委員会事務局長	…	麻生 康弘君
都市建設課長	……………	藤井 英明君	上下水道課長	……………	大塚英二郎君
教育総務課長兼学校給食センター所長	…	古屋秀一郎君	学校教育課長	……………	木田 尚武君
社会教育課長兼町立図書館長	…	河野 英樹君	総務課課長補佐	……………	吉松 慎史君

午前10時00分開議

○議長（金元 正生君） 皆さん、おはようございます。昨日に引き続き御苦労さまです。

開会に先立ちまして、傍聴される皆様に申し上げます。会議中は静粛に願います。なお、会議中の言動に対し、拍手や可否表明などの言動は固く禁じられております。

また、写真撮影や録音機器の使用は禁止されております。携帯電話、スマートフォンをお持ちの方は電源をお切りになるか、マナーモードに設定されますよう御協力願います。

開議の宣告

○議長（金元 正生君） ただいまの出席議員は15名です。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

本日の会議の議事は、お手元に配付しております議事日程により行います。

なお、議会報編集特別委員会委員長及び報道機関より議場内での撮影の申込みがありましたので、これを許可します。

日程第1. 一般質問

○議長（金元 正生君） 日程第1、昨日に引き続き一般質問を行います。

それでは、順次質問を許可します。2番、阿部峰子君。阿部議員。

○議員（2番 阿部 峰子君） 2番、日本共産党の阿部峰子です。通告に従って質問を始めます。

1番、上下水道料金の徴収についてです。物価高騰の折、滞納の方もおられるかもしれません。日出町は下水道料金が値上げされました。いつのまにか水道が止まったということはないでしょうか。給水停止にでもなれば、命に関わることになりかねません。

1 番です。上下水道料金の支払いが滞って給水停止になるまでの過程を教えてください。

○議長（金元 正生君） 大塚英二郎上下水道課長。

○上下水道課長（大塚英二郎君） お答えします。

水道料金につきましては、1 か月ごとの請求をさせていただいております。未納となった方がいましたら、納付期限後の20日以内に督促状を発送し、納付のお願いと未納がありますという通知をすることとなります。

督促状後、未納が続くとなると、年3回実施していますが、今度は催告書というのを送付して納付を促すこととしております。

なおも納付が確認できない場合は、水道法第15条第3項及び日出町水道事業給水条例第41条の規定により、給水停止予告書を送付いたします。

この予告通知書には納付期限を記載させておるのですが、この納付期限が経過して納付が確認できなかった方に、今度は給水停止通知書を発送し、停止日までに何の連絡もいただけない場合に、やむを得ず給水停止を行っております。

○議長（金元 正生君） 阿部議員。

○議員（2 番 阿部 峰子君） 一連の順番は分かりました。20日以内に納付がないときは督促状が出る。督促状を出す。停止報告書を出す。納付がないときは給水停止になるということですが、その期間は何か月ぐらいありますか。

○議長（金元 正生君） 大塚課長。

○上下水道課長（大塚英二郎君） 給水予告から給水停止に至るまで、大体約1か月半から2か月の期間を要しております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 阿部議員。

○議員（2 番 阿部 峰子君） 延滞料はつくんでしょうか。

○議長（金元 正生君） 大塚課長。

○上下水道課長（大塚英二郎君） 延滞料はつけておりません。

○議長（金元 正生君） 阿部議員。

○議員（2 番 阿部 峰子君） 督促状は郵送でしょうか、お家に持っていくんでしょうか。

○議長（金元 正生君） 大塚課長。

○上下水道課長（大塚英二郎君） 基本、郵送です。

○議長（金元 正生君） 阿部議員。

○議員（2 番 阿部 峰子君） 大体順番は分かりました。上下水道代のほかにも電気代やらガス代やら電話代やらなども考えて生活が苦しいこの頃、水道が止められたらと思ったらぞっとしま

す。

これは参考ですが、東京都では、この夏の4か月間、一般家庭の水道料金の基本料金を無料化するそうです。都水道局が水道水を供給していない13市町村では、基本料金の収入相当額を交付するそうです。

2番目です。

再三の督促にもかかわらず支払いが滞ると給水停止になる場合があります。給水停止後は、滞納料金を支払わない限り即日開栓はできませんとありましたが、「再三」のところは、先ほどの1番の回答の以上にまだ何かありますか。

○議長（金元 正生君） 大塚課長。

○上下水道課長（大塚英二郎君） おっしゃるとおり、先ほどの督促状、催告書、予告通知書等の通知と、並びに給水予告通知と給水停止通知を出したときには、日中お仕事等で納付ができない相談ができない方に対しまして、夜間相談窓口を設けております。そのときに一応夜間の電話勧奨というところで、催告というところで、こちらのほうから電話をして、未納がありますよというお知らせをしております。

○議長（金元 正生君） 阿部議員。

○議員（2番 阿部 峰子君） 夜間相談窓口をつくっていて、役場からそのお家に電話をすることですね。丁寧でとてもうれしいことだと思います。よろしくお願いします。

3番です。日出町で該当の方はおられますか。

○議長（金元 正生君） 大塚課長。

○上下水道課長（大塚英二郎君） 給水予告通知につきましては、先ほどの通知書の経過を得て対象者を選定することになるのですが、基本は原則3か月以上未納となっている方を抽出して予告書を出しておるところでございます。ですので、年度によっては、対象人数は変わりますので、前年度の8月、夏に行いました結果を報告させていただきます。

給水停止予告書を111名の方に通知しております。

先ほど言いましたが、1か月半から2か月をかけて相談窓口を設置したりして接触を試みて、納入された方、一部納入して残りを分割でお支払いしますと納入計画書を作っていただいて納付誓約書を提出された方、そういった方については、給水停止処分は適用しておりませんので、これらの対応により、結果、給水停止に至った方は6名となっております。

なお、この6名につきましては、停水日当日に連絡があつて納付をされたり、また、先ほど言いました納付誓約書を提出されるという形を取っていただいて、速やかに給水停止を解除しております。全員の方が、今、水道を利用している状況です。

以上です。

○議長（金元 正生君） 阿部議員。

○議員（2番 阿部 峰子君） それを聞いて、よかったと思います。この物価高で暮らしは大変です。今後とも丁寧な対応をお願いいたします。

2番、物価高騰対策についてです。

生活が大変です。習い事を1つ減らすとか、外食はとうにやめてしまったよとか、電気を消したときはコンセントから外すよと、皆さんいろいろ工夫して暮らしていらっしゃいました。子ども食堂の米は大丈夫かと聞いてくる方もいらっしゃいます。役場が中心となって農家に米の寄附を募るとかできないのかなどとお話する方もいらっしゃいました。

ある子ども食堂へお邪魔してお話をお伺いすることができました。そこでは、「米は田舎の知り合いが分けてくれるところがあって助かりました」とお話してくださいました。ほっとしたところです。また、ほかには、ごみ袋を無料にの意見もありました。介護保険料や国保料の納期の猶予をすとか、先ほどお話を聞きました上下水道料の基本料を無料にするなど、町独自の支援を視野に入れてほしいものです。

そこで、町独自の物価高騰対策を考えていますか。

○議長（金元 正生君） 河野明弘財政課長。

○財政課長（河野 明弘君） では、お答えいたします。

物価高騰対策につきましては、後ほどお答えいたします国からの交付金を活用しながら実施しているところではございますが、町独自の事業といたしましては、学校給食の食材費につきまして、お米をはじめ価格が高騰しているところではございますが、保護者が納める学校給食費を値上げせず、財源の不足分をまちづくり基金からの繰入金などで負担をしているという状況でございます。

以上です。

○議長（金元 正生君） 阿部議員。

○議員（2番 阿部 峰子君） 町長、ほかには何かありませんか。

○議長（金元 正生君） 町長、安部徹也君。

○町長（安部 徹也君） 御質問にお答えいたします。

ほかにもしっかりとまた物価高騰対策考えておりますので、恐らくまた財政課長のほうから答弁があるというふうに思います。

以上でございます。

○議長（金元 正生君） 阿部議員。

○議員（2番 阿部 峰子君） 2番です。国からの物価高騰対策費として交付金の額と予定も含めて、使途について示してください。

○議長（金元 正生君） 河野課長。

○財政課長（河野 明弘君） お答えします。

令和6年12月に成立いたしました国の補正予算では、国民の安心安全と持続的な成長に向けた経済対策の一環として、重点支援地方交付金が都道府県や市区町村に交付されることになりました。

交付金には2つのメニューがございます。1つは、低所得者支援枠として、住民税非課税世帯1世帯当たり3万円。また、その世帯において18歳以下の子供がいる場合は、さらに1人当たり2万円を給付するものであります。

この事業につきましては、全額が国庫からの交付金となっております。

予算額については、1億2,126万5千円となっており、既に事業は開始しております。

もう一つのメニューといたしましては、推奨事業枠といたしまして、人口等で算定されました交付金を財源とし、自治体が独自の物価高騰対策を実施するものでございます。

日出町には7,970万1千円が交付されており、これに加えまして日出町の一般財源3,302万9千円と合わせまして、7つの事業に合計1億1,223万円の予算を3月議会に計上し議決をいただいているところでございます。

その交付金の使途でございますけれども、主なものといたしましては、運輸事業者や農林水産業者への支援の補助金、それから高齢者、障がい者、保育所等、福祉施設への助成金、それから1人当たり2千円を全町民に配付する商品券の配付事業等に活用することとしております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 阿部議員。

○議員（2番 阿部 峰子君） 御苦労さまでした。2千円の商品券はいつ頃でしたか。

○議長（金元 正生君） 河野課長。

○財政課長（河野 明弘君） 今、準備をしております。夏頃にはできたらいいかなということを今、一応、総務課の担当のほうから聞いております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 阿部議員。

○議員（2番 阿部 峰子君） 御苦労さまでした。今の内容を持って住民の皆さんのところにお伺いいたします。

では、3番、行政サービス、庁舎入り口の窓口業務廃止についてです。

①番、何か問題があってなくなったのでしょうか。これをお尋ねしたいと思います。

町報の3月号に、「日出町DX推進計画として、来庁者に窓口業務を行う部署が年代や居住地域や来庁目的を尋ねます。3月3日より通年」とありまして、問合せは、「政策企画課デジタル

戦略係、73の3116」とありました。毎日交代で窓口係として1階のフロアに派遣するというのでしょうか。窓口がなくなったのは、このことと関係があるのでしょうか。

○議長（金元 正生君） 高橋康治総務課長。

○総務課長（高橋 康治君） お答えをいたします。

先ほどのDXの窓口の調査につきましては、各窓口で、どういった方々がどういった目的でいらっしゃるのかというところを確認をさせていただくということで、うちのほうでデータ化をしているところでありまして、今回の総合窓口の休止というところとは少し意味合いが違うということでございます。

それから、昨日も御質問申し上げましたけども、この間、総合案内、新庁舎のほうに設置をしておりましたけども、近くには税務課、介護福祉課という窓口もございます。そういったところでも対応が可能ではないかというところで、総合的に判断をさせていただいて、一旦休止という状況で、また、窓口等に来庁された方、窓口等で来庁された方につきまして、そういった総合案内やっぱり必要だよねというような何かしら御要望が多ければ、また再度考えていくということにさせていただいておるところでございます。

以上です。

○議長（金元 正生君） 阿部議員。

○議員（2番 阿部 峰子君） 一旦休止をする。要望があれば復活するというお話でした。

今後、住民への説明、どのように説明するのか教えてください。

庁舎の入り口は町民との接点の入り口と考えています。昨日のお話の中では、玄関を入ったところは行政サービスの一番目と表現していました。そのとおりだと思います。転居してきた方や移住者など、初めて役場に来られた方は不安でいっぱいだと思います。エレベーターの前に、横に案内図はありますが、よく分からないという意見があります。旧館、新館と言われても分からないと言われましたが、新しい方は特にそうだろうと思います。

昨日の工藤議員とのやり取りでは、一度休止してみようというお話や、役場に来なくてもいいようにしていく方向なのでというお話や、近くにいる職員が声かけしているよというようなお話でしたが、とんでもないと思います。あまりにも乱暴なやり方と思います。役場に来なくてもいいようにしていく方向なので、今、一旦休止している。そんなことは絶対にいけないことだったと思います。そしてやり取りの中で、1日平均40人が窓口を訪れていた。場所を聞く人がほとんどだったと返答しておられましたが、言い換えれば、4月も5月も毎日平均40人の住民の方が困っていたということになっているのではないのでしょうか。

今、全国の様子をインターネットで見てみたんですが、役場に来た方に、書かないでいいよ、待たないでいいよ、回らなくていいよ、そんなサービスを進めようとしていました。そのことが

窓口をなくそうとしているのとは違うと思います。窓口はちゃんとありました。誰一人取り残さないと町長は日頃おっしゃっています。その方向とは真逆の方向に行きつつあるのではないのでしょうか。心配でたまらなくなりました。

もう一度お尋ねしますが、今後、住民へはどのように説明するのでしょうか。

○議長（金元 正生君） 高橋課長。

○総務課長（高橋 康治君） 御質問にお答えをしたいというふうに思います。

今後ということですが、近くに職員、先ほど申しましたけども、税務課や介護福祉課がございまして。その職員も含め全職員で対応をさせていただければというふうに思っています。

職員につきましては、今後も来庁される方におもてなしの心というところを徹底して、皆さんに親切丁寧に対応させていただくということを心がけさせていただきたいというふうに思っているところでございます。

以上です。

○議長（金元 正生君） 阿部議員。

○議員（２番 阿部 峰子君） 介護福祉課や税務課の職員の皆さん、一番主に来庁者が目に見えと思うんですが、職員のおもてなしの心だけでは動いていかないと思います。

３番です。このことで金額として年間どれだけが節約できるのでしょうか。

○議長（金元 正生君） 高橋課長。

○総務課長（高橋 康治君） 御質問にお答えいたします。

会計年度任用職員を配置した場合ということでお答えをしたいと思いますけども、年間およそ３７０万円ということになります。

以上です。

○議長（金元 正生君） 阿部議員。

○議員（２番 阿部 峰子君） ３７０万円の節約で住民がどれだけ困ることになるか想像していただきたいと思います。早急に窓口を復活させていただきたいことを伝えて、質問を終わります。

.....

○議長（金元 正生君） １２番、池田淳子君。池田議員。

○議員（１２番 池田 淳子君） １２番、公明党の池田淳子です。通告に従いまして一般質問を行います。

まず、公共施設の環境整備についてお聞きいたします。

過去に建設された公共施設等がこれから大量の更新時期を迎えます。計画的な維持管理による長寿命化、更新費用の平準化を図りながら公共施設等の適正な規模と最適な配置を検討するため、平成２９年３月に日出町公共施設等総合管理計画を策定し、令和５年２月に改定されています。

公共施設は、役場庁舎をはじめ公民館や文化施設などのいわゆる箱物から町道や橋梁などのインフラと多岐にわたります。計画の中で公共施設等の将来更新費用推計を示していますが、箱物とインフラ施設の今後40年間で係る更新費用の総額は854.4億円、年間平均で21.4億円が必要としています。公共施設の新設や更新には大きな予算が伴いますが、限られた予算の中で効果的に更新を行わなければならない御苦勞はあると推察いたします。

では、最初に、町営住宅の駐車場についてお聞きいたします。

全ての町営住宅ではないと思いますが、一部の町営住宅は1世帯に1台分しか駐車場が確保されていないと思います。1人が1台の車を所有する現代ですが、町営住宅の駐車場は十分に足りていますでしょうか。

○議長（金元 正生君） 藤井英明都市建設課長。

○都市建設課長（藤井 英明君） 町営住宅における駐車場の整備状況についてでございます。

現状といたしましては、1世帯に1台の駐車場は確保しておりますが、2台目以降は対応できていない状況となっております。

これまで複数台の駐車に関する御相談はありましたが、近隣の民間駐車場等の御利用をお願いし、御理解をいただいている状況となっております。

このように必ずしも充足しているとは言えませんが、その中でも町営豊岡住宅及び町営仁王住宅に関しましては、来客者用駐車場の整備を行う等の利便性の向上を図っているところでございます。

当課としては、今後の需要を見据え、今後、対応策の調査検討をしていきたいというふうと考えております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 池田議員。

○議員（12番 池田 淳子君） たしか豊岡住宅ですか、民地をお借りして、多分安価でお借りしていると思うんですけども、町の担当課のほう、町のほうで、そういった民間の土地をお借りして駐車場を確保するという計画はありますでしょうか。

○議長（金元 正生君） 藤井課長。

○都市建設課長（藤井 英明君） 現在のところ、具体的な検討はいたしておりません。

以上です。

○議長（金元 正生君） 池田議員。

○議員（12番 池田 淳子君） 充足しているとは思ってない、認識ということですので、早急にいろんな対策を講じていただきたいと思っております。

せっかく空いているのに、駐車場がないから入居ができない、入居を渋っていらっしゃるとい

うお話もお聞きいたしますので、せっかくの公共施設、財産を有効に活用するという観点からも整備を進めていただきたいと思います。

続きまして、W i — F i 整備についてですけれども、今、ホテルや賃貸住宅にはW i — F i 整備が標準となっております。W i — F i 整備をすることで、観光客の誘致、防災対策、地域活性化など、様々なメリットがあると言われています。特に公共施設でのW i — F i 利用は住民サービスの向上に寄与するものと考えられますが、W i — F i を整備している町内の公共施設はどのくらいありますでしょうか。

○議長（金元 正生君） 赤野公彦政策企画課長。

○政策企画課長（赤野 公彦君） 現在、利用者の方々が広く利用できるW i — F i 設備を整備している施設につきましては、町立図書館、交流ひろばH i C a L i、それから糸ヶ浜海浜公園の店舗の部分になります。また、保健福祉センターと中央公民館につきましては、W i — F i がつながるネットワーク機器を会議室の利用者の方々に向けて無料で貸出しをしております。こちらにつきましては、限定的ではありますが、利用が可能となっております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 池田議員。

○議員（12番 池田 淳子君） 各公民館とか、いろんな教室をされると思います。図書館は大変ありがたいなと思っているところです。というのが、学生さんが勉強を、学習するのに利用していることが多いと昨日も一般質問の中でありましたけど、いろいろ調べ物をするときW i — F i があるとデータ通信を自分のを使わないとか、使えない場合もありますので、契約によっては制限があったりとかするとなかなか使いづらい状況になると思いますので、W i — F i があることが非常に望ましいかと思いますが、各地区公民館、せめて各地区公民館、保健福祉センターにはないですか。

○議長（金元 正生君） 赤野課長。

○政策企画課長（赤野 公彦君） 保健福祉センターにつきましては、先ほども申しましたとおり、会議室の利用者の方々に关しまして機器の貸出しということでしておりますので、はい。

以上です。

○議長（金元 正生君） 池田議員。

○議員（12番 池田 淳子君） 失礼いたしました。糸ヶ浜海浜公園の店舗ということは、あそこの店舗2つ入っていらっしゃる場所ですか、はい。

糸ヶ浜海浜公園ですね、ちょっと今出ましたので、携帯電話の電波が非常に入りにくいところがあるんですね。その認識は担当課のほうではおありでしょうか。

○議長（金元 正生君） 赤野課長。

○政策企画課長（赤野 公彦君） 携帯電話会社のホームページを見ますと、最新通信環境である 5G のエリアでないところがあるということは認識をしております。ただ、通話可能エリアには入っておりますので、5G 以外のところで電波が入りづらいとは、なかなか一概には言えないと思っております。

今回御指摘がありましたので、実際現地を港から牧の内、大神ファーム、糸ヶ浜公園、真那井、八代の金輪島まで回って見たんですけども、私の携帯電話ですとやはり糸ヶ浜、大神ファーム、金輪島のところは電波の表示がフルではなかったというのは確認しております。ただ、時報のほうで電話を試してみたんですけども、電話の状態自体はよかったんで、なかなか一概には本当言えないというふうに感じております。キャリアごとでも多分違うんじゃないかと思っています。

改善につなげていきたいんですけども、その場所で、場所場所で調査を行って、キャリアごとに電波の入りにくさを確認する必要があるというふうに考えております。

○議長（金元 正生君） 池田議員。

○議員（12番 池田 淳子君） 詳細に調べていただいてありがとうございました。

先日、糸ヶ浜公園でイベント開催をさせていただいたんですが、これまで何度も訪れたことが当然あったんですけど、携帯電話を使用するという機会がなかったんですね。今回、当日頻繁にいろんな方と連絡を取り合うことが多かったので、電話をするんですけど、場所によっては途中で通話が切れてしまう。ちょっと二、三メーター動くと入るという場合もあるんですけども、キャリアによってということも当然あるかとは思いますが、そうした状況でした。

糸ヶ浜は、遠浅で潮が引いたときにずっと遠くまで歩いていくことがもちろんできます。その際に、万が一ですよ、体調不良とか予期せぬ事故が発生した場合に、すぐに緊急連絡を取るとなると、なかなかちょっと電波の入りにくい状態だと不安だなというふうに感じました。そういった状況等は想定したことはありますでしょうか。

○議長（金元 正生君） 赤野課長。

○政策企画課長（赤野 公彦君） お答えします。

議員言われましたとおり、そういった危険な、すみません。緊急時の携帯の電波状態が悪い、緊急時に携帯を使えなくなるというのは大変問題があるというふうに思っております。想定は、糸ヶ浜公園の管理棟、管理者の方同士で、当然想定はしていると思いますけども、電波の改善ということでは必要だと思っております。

○議長（金元 正生君） 池田議員。

○議員（12番 池田 淳子君） 改善が必要なんですけど、町でできること、改善できること、基地局を増やせば、多分電波の入りはよくなるんでしょうけど、そういったことは、町ではできませんけども、町としてできる対策は何かありますか。

○議長（金元 正生君） 赤野課長。

○政策企画課長（赤野 公彦君） 電波が入りにくい場合の対策ですけども、やはり議員言われましたとおり、電波塔を建てるとというのが一番だと思っていますが、そちらにつきましては、携帯電話会社との相談になるというふうに思っております。

屋内のほうの電波状況の改善ですと、中継器などの契約などを行って改善することが可能のようですので、それは直接、携帯電話会社さんのほうに電話をいただければというふうに思っております。

そして屋外についての拡大でありますけども、同じく携帯電話会社との相談になるというふうに思っております。4Gの基地局から5Gへと高度化事業をするということであれば、国の支援があるというふうに聞いております。ですが、これは金額もかなり大きくなると見込まれますので、事業主体である携帯電話会社さんがどうするかということで、調整がかなり時間かかるというふうに思っております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 池田議員。

○議員（12番 池田 淳子君） 基地局を増やすのは、携帯キャリア、会社のすることですので、町として、私はWi-Fiの整備をちょっとしていただいたらいいなと思っているんですけども、というのが、先ほどの緊急事態、糸ヶ浜はWi-Fiがあるので、どこまで届くか分かりませんが、緊急事態で例えば普通の携帯の通話ができないにしても、LINE等で、LINEで直接救急車とか呼ぶことはできませんが、例えばLINEがつながっているお友達とか御家族に連絡をして代わりに呼んでもらうということもできますし、SNSでの投稿も有効な手段だと思っています。なので、Wi-Fi整備には、いろんな公共施設では有効だとは思いますが、ちなみにですね、屋外で、理論値ですけど、障害物のない直線距離で500メートルという答えもあるんですけども、大体100メートルという情報もありますので、ちょっと一概には言えないんですけど、大きな差があるのでですね。だから糸ヶ浜で言いますと、沖のほうで何か不測の事態があったとしてもWi-Fiがあれば安心だなというふうには思っております。

次に、防災公園となる豊岡公園の電波状況の確認は行っていますでしょうか。

○議長（金元 正生君） 藤井課長。

○都市建設課長（藤井 英明君） 現在、豊岡公園の整備工事の施工中ですが、受注業者との携帯電話での連絡に関して、これまで特に支障はありません。また、携帯キャリアの通信エリアマップで確認しましたところ、サービスエリア内となっており、以上から、通常時においては電波状況に問題はないというふうに判断をしておるところです。

以上です。

○議長（金元 正生君） 池田議員。

○議員（１２番 池田 淳子君） あの辺だと入らないことはないだろうなと思うんですけど、防災公園ですので、災害時に避難をするような計画もおありでしょうから、電波状況の確認も必要かなというふうには思いました。Wi-Fi整備の予定はありますでしょうか。

○議長（金元 正生君） 藤井課長。

○都市建設課長（藤井 英明君） 現在のところ具体的な検討はしておりませんが、必要性等を検討してはいきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 池田議員。

○議員（１２番 池田 淳子君） 今、新たに新設する設備には、Wi-Fiは必要かと思います。では、豊岡公園の全体像をお聞かせください。

○議長（金元 正生君） 藤井課長。

○都市建設課長（藤井 英明君） 現整備計画の概要ですが、公園全体面積８．７ヘクタール中、現在用地買収済みの箇所約５．１ヘクタールで整備を進め、一部供用開始を目指した計画としております。

計画の具体的内容ですが、現在整備している園内道路は、延長約５４１メートル、幅員９．５メートル。これは車道が７メートル、歩道が２．５メートルとなっております。その途中に展望駐車施設を設置する計画であり、園内道路につきましては、本年度末の完成を予定しておるところです。

また、同じく整備中であります多目的広場に駐車場及び健康遊具等の設置を計画しております。こちらにつきましては、令和９年度末の完成を予定しておるところです。

その他の施設としては、園内道路の北側に展望広場、遊戯広場、さらに遊歩道や散策道を計画しているところです。

今後につきましては、その整備に合わせて民間活力導入に向けたサウンディング型市場調査を行いまして、パークＰＦＩ制度を活用しました官民連携事業への民間事業者の参入意欲を期待したいというふうに考えております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 池田議員。

○議員（１２番 池田 淳子君） 今年度末に橋梁と多目的広場、園内道路が完成ということでしたね。

私は、町内外から多くの方が集う公園をイメージしています。お隣別府市には幾つも公園がありますけど、時々、私の愛犬を連れて散歩に、散歩というか、行くんですが、別府公園と上人ヶ

浜公園に行くことが多いんですけども、別府公園には、ランニング、ウォーキングコース、それから四季折々にイベントが開催をされていますね。駐車場には、御存じだと思いますけども、飲食店、カフェが併設をされていて、多くの方で常ににぎわっている状態です。

上人ヶ浜公園も最近再整備をされまして、広い真ん中のグラウンドでは、サッカーとかキャッチボールとかをしている親子さんや学校帰りと思われる生徒さん、また当然犬の散歩をされている方も多くいらっしゃいます。それからバスケットゴールも備えていて、シュートの練習とかプレーをしている生徒さんもいらっしゃいます。バスケットボールって、家の近くでやりたいけども、ボールをつく音が非常に御近所の迷惑になるということで、苦情が入ったりとか、そういうこともあって、なかなかバスケットを楽しむことができないというお声も町内でもよくお聞きするんですけども、上人ヶ浜公園は非常にいいなというふうに感じております。

当然、ランニングまたウォーキングをしていらっしゃる方もいらっしゃって、どのぐらい歩いたかという、距離をですね、メモリをつけていて、そういったことも整備されている公園ですけど、そこでお聞きをいたしますが、以前、糸ヶ浜海浜公園と豊岡公園について、利活用に関するアンケートを実施していると思います。その結果を教えてください。

○議長（金元 正生君） 藤井課長。

○都市建設課長（藤井 英明君） 令和５年度に糸ヶ浜海浜公園と今後整備する豊岡公園につきまして、要望する施設等のアンケート調査を実施をしております。

その結果ということですが、まず糸ヶ浜海浜公園につきましては、カフェ、ウォーキングロード、バーベキューテラスが上位となっております。豊岡公園につきましては、カフェ、遊具施設、芝生広場、展望広場が上位となっております。

この結果をどの程度反映させるかということですが、こういった施設につきましては、町単独事業での整備というのはなかなか困難であるというふうに考えていますので、まずは補助事業で認められる範囲で整備の実施を検討していきたいと思っております。

しかし、糸ヶ浜海浜公園につきましては、事業も完了していますので、先ほど申しましたようなパークＰＦＩ制度等を活用して、民間事業者の参入があれば、反映可能な部分もあるのではないかと考えております。同様に豊岡公園につきましても、パークＰＦＩ制度を活用するために、民間事業者にとって参入しやすいような環境を整備することで、参入意欲を高めることができれば、そういった施設の実現可能性も高まるのではないかと考えているところです。

以上です。

○議長（金元 正生君） 池田議員。

○議員（１２番 池田 淳子君） 今、上位３位までおっしゃっていただきましたけども、ドッグ

ランを造ってほしいという意見もあったと思うんですが、いかがですかね。

○議長（金元 正生君） 藤井課長。

○都市建設課長（藤井 英明君） ドッグランにつきましても、上から3番目までには入っていませんでしたが、要望としてはありました。

以上です。

○議長（金元 正生君） 池田議員。

○議員（12番 池田 淳子君） ドッグランを造ってほしいという意見、私は多かったというふうに認識をしていたんですけども、というのが、私ずっともう言い続けていますけど、防災公園にペット同行避難、専用避難所を整備してほしいなというふうに思っています。というのが、この間、すみません、ちょっと私ごとというか、実行委員会になりますけど、犬のイベントを開催をさせていただきました。どのくらい集まるか想像もつかなかったんですけども、いろんな方の御協力、もちろん日出町にも、町のほうにも、後援についていただいて、同僚議員の方々にも御協力をいただきながら開催をすることができました。

大変多くの方が来られたんですね。ペットを通じてですけども、ペットと防災ということをテーマにイベントを開催したんですけど、いろんな角度から防災にアプローチができるなということが分かりました。防災意識がなかなか高まらない中で、人の防災意識ももちろん大事ですけども、ペットを通じて防災意識を高めるためのアプローチができるなというふうに感じたところなんです。ですので、そういったイベントを開催するに当たっては、豊岡公園を普段から使い慣れて、もう何度も言いますが、使い慣れておいて、そこに避難ができるというふうな形をつくっていただけると本当にありがたいなというふうに思うんですけど、町長にも御挨拶にお見えになっていただきましたけども、そういったペットを通じての防災意識の高揚、そういったことについては、いかがお考えでしょうか。

○議長（金元 正生君） 町長、安部徹也君。

○町長（安部 徹也君） 御質問にお答えいたします。

その際、御招待ありがとうございました。私もイベントに参加して、たくさんの方がやはりペットを家族として認識されて、もし万が一のことがあれば、一緒に避難したいという方がもう100%だというふうに思います。そういった意味では、また、しっかりまたペットとともに避難できる、そういった場所を日出町に確保していくということは、今後必須のことになっていくのかなというふうに考えているところでございます。

以上です。

○議長（金元 正生君） 池田議員。

○議員（12番 池田 淳子君） ペット同行避難のガイドラインもつくっていただきましたし、

指定避難所ではペット同行避難ができるというふうにはなっていますが、なかなか、まだ環境的には十分とは言えない状況ですので、ぜひ、パーク P F I を活用するなりして、環境整備に努めていただきたいというふうに思っております。

では、次の質問に移ります。

ネットリテラシーについてです。ネットリテラシーと言うと非常に難しい言葉ですが、情報化時代の中であって、あふれる情報の中から正しい情報を取捨選択する力が大切だと考えております。みんなが言っているとの理由で逮捕されるといった内容のテレビのコマーシャルもありますし、また、SNSを通じて知り合った人から投資詐欺に遭うといった事案も割と身近で起きていたりします。

投資詐欺被害の記事は金額の多少にかかわらず頻繁に目にいたしますけども、これだけ報道されても被害に遭ってしまうことがあるという現実があります。最近は迷惑メールの手口も巧妙で、大手企業を名乗るメールは、あり得る内容であったり、会社のロゴも見分けがつかないほど精工なものが多くなっております。

様々な事案はありますが、こうしたネットリテラシーについて、町民に対して啓発などは行っていますか。

○議長（金元 正生君） 赤野課長。

○政策企画課長（赤野 公彦君） インターネットリテラシーとは、様々な分野がありますが、情報に対する批判的な考え方を持たれる方、情報の正確性や信頼性、プライバシーの保護、セキュリティ対策など様々な視点が含まれており、インターネットの情報や事象を正しく理解して、それを適切に判断して利用できるということであるというふうに思っております。

町民に対する取組でありますけども、詐欺被害や商品購入トラブルに遭わないようにという視点での啓発については行っております。また、スマホ教室の中では、ネットの危険性等に対して知識を深めてもらっていただいております。

現在、被害防止という視点では啓発を行っておりますけども、モラル向上や他者とのネット上の付き合い方というところの視点では、啓発が十分ではないというふうに思っております。

○議長（金元 正生君） 池田議員。

○議員（12番 池田 淳子君） そうした角度からも、ぜひ啓発をしていただきたいと思います。

また、トラブルがあったときには、相談窓口等もおありでしょうから、そういったことも含めて、町報に載せるなり、時々で構いませんので、お願いしたいと思います。

こども家庭庁が10歳から17歳の子供さんを対象に行った調査によりますと、98.2%がインターネットを利用していると回答しておられます。学校ではタブレットを使用した授業での利用が考えられますが、それ以外は自宅での利用になるということになると思います。

家庭でルールを決めるなど、基本は家庭での教育となるでしょうが、学校での対応はどのような内容になっていますか。

○議長（金元 正生君） 木田尚武学校教育課長。

○学校教育課長（木田 尚武君） お答えいたします。

学校では、情報教育として、小学校1年生から学活や道徳、総合的な学習の時間等を活用して、インターネットの正しい使い方や、スマートフォン、タブレット端末等、各種メディアを利用する際の弊害や危険性について児童生徒の発達段階に応じた指導を行っております。また、児童生徒、保護者、教職員を対象に、外部講師を招弊しての情報モラル教室を定期的を開催し、情報モラルの育成に努めております。

学級懇談会等、保護者が集まる場では、家庭の使用ルールの必要性やSNSの使い方、有害サイトの危険性について啓発し、学校と家庭が連携してネットリテラシー教育に取り組んでいるところです。

以上です。

○議長（金元 正生君） 池田議員。

○議員（12番 池田 淳子君） 十分に、教育といいますか、御指導していただいているんだというふうには感じましたけども、例えば、具体的な例ですね、ネットに関する懸念材料といいますか、インターネット被害に遭うとか、個人情報漏えいすると、こういうふうに迷惑をかけるとか、自分が迷惑を被るとか、そういう具体的な例を示して事例を挙げたりしていらっしゃいますか。

○議長（金元 正生君） 木田課長。

○学校教育課長（木田 尚武君） お答えいたします。

発達段階に応じた指導になります。特に学年が上がって、小学校高学年生、そして中学校に入りますと、より具体的に犯罪的なものに誘発される、あるいはそんな事例に対して、具体的な指導というか、警察等も連携しながらですね、生徒に指導をしているところです。

以上です。

○議長（金元 正生君） 池田議員。

○議員（12番 池田 淳子君） 発達段階に応じた指導していただいているということで、安心をいたしました。

今、本当に情報が入り乱れていて、本当に何が正しいのか、何が間違っているのかという、情報を受け取る力をつけていかないと、大人も一緒です。子供だけじゃなくてですね。けども、今、子供の頃からそうしたインターネットに触れる機会が多くなっていますので、あってはなりませんけど、知らない人についていったりとか、知らない人と会って、そういった事件も結

構全国的にはありますので、しっかりと教育のほうをしていただきたいと思います。

本当に間違った情報を、受け取る時は間違っていないと思っていると思うので、そうした広い視野を持って情報を受け取る力をつけてほしいと思っています。

では、次に、RSウイルス感染症対策についてです。

2022年の人口動態調査によりますと、肺炎で亡くなった方は約7万4千人、全死因の約9.4%を占めており、死因順位でも上位に位置しております。基礎疾患を持っている方、免疫力が低下している方は重症化リスクが高いと言われています。肺炎の原因はウイルスによる感染が一般的で、肺炎球菌、インフルエンザウイルス、マイコプラズマ、RSウイルス、コロナウイルスなどがありますが、今回はこのRSウイルスについてお聞きをいたします。

RSウイルス感染症は、風邪のような症状を伴う呼吸器感染症として知られており、特に今からの時期、夏風邪の症状として見落とされがちですけれども、今からの時期が感染時期というふうに言われております。

新生児から高齢者まで年齢に関係なく何度も感染すると言われています。夏風邪と認識しているものが、実はRSウイルス感染症だったりすることも考えられます。インフルエンザ流行期になると注意喚起を行っていると思いますけれども、RSウイルス感染症予防のための注意喚起は行っていますでしょうか。

○議長（金元 正生君） 後藤将児健康増進課長。

○健康増進課長（後藤 将児君） お答えをいたします。

RSウイルスは、一般的には乳幼児の呼吸器感染症の原因ウイルスとして知られておりますが、高齢者や基礎疾患のある成人においても、RSウイルスは肺炎などを引き起こすこともあります。

現在、町では、インフルエンザなどの感染症予防に関する注意喚起を行っている一方で、RSウイルス感染症に特化した注意喚起は行っていない状況であります。

重症化や感染拡大を防ぐためには適切な対策が必要となることから、今回の議員の御指摘も踏まえまして、今後は、RSウイルスに関する情報提供について、広報誌やホームページ等を通じて周知に努めてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 池田議員。

○議員（12番 池田 淳子君） 予防を早めるためにも、ぜひ啓発のほうをお願いしたいと思います。

RSウイルスに感染しても、特効薬が現在ありません。治療法も確立していないために対処療法しかございません。またRSウイルスに感染しているかを調べるにも、保険適用ではないので、実費となります。当然、高額となってしまいます。治療法が確立していないとなると予防対策が

重要と考えますが、令和5年9月に世界初の成人、高齢者向けのRSウイルスワクチンが日本で承認され、令和6年1月15日から接種可能となっています。60歳以上の成人、高齢者において、RSウイルス感染症の発症予防効果は82.6%。特定の慢性心臓疾患や呼吸器疾患、腎不全、肝機能障害、糖尿病などの基礎疾患を共存する患者においても、有効率94.6%、効果は約2年にわたり持続すると報告されています。

また、RSウイルス母子免疫ワクチンは、妊娠24週から36週の妊婦さんに接種できます。このワクチンは、妊婦の体内でRSウイルス抗体が胎盤を通じて赤ちゃんに移行し、出生後の乳児をRSウイルスから守る効果が期待できるとされています。この2種類のワクチンについて担当課の認識を伺います。

○議長（金元 正生君） 後藤課長。

○健康増進課長（後藤 将児君） お答えをいたします。

現在、国内で接種できるRSウイルス感染症を予防するワクチンにつきましては、議員御指摘のとおり成人用と妊婦用があり、成人用は60歳以上の方または重症化リスクの高い50から59歳の方も接種対象となっております。妊婦用は、妊娠中に接種を行うことで、新生児及び乳児におけるRSウイルスを原因とする疾患の予防する効果もあるとされております。今後もワクチンに関する情報収集を行って、調査研究を続けてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 池田議員。

○議員（12番 池田 淳子君） ちなみにですけど、接種費用は御存じでしょうか。

○議長（金元 正生君） 後藤課長。

○健康増進課長（後藤 将児君） お答えをいたします。

接種費用につきましては、医療機関によって異なることとなりますけども、一般的には2万5千円から3万円ということというふうに認識しております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 池田議員。

○議員（12番 池田 淳子君） 妊婦さん用は3万円前後、成人用は2万円以上というのが一般的のようです。

ワクチン接種となると、ぜひ助成をしていただけないでしょうかということをお願いするんですけども、带状疱疹のワクチン接種にもしていただきましたしね、次から次にとということにもいかないだろうなということとはちゃんと心得ております。将来的には、でも、そうは言っても、肺炎にかかる原因の一つがこのRSウイルスということですので、感染しないだけでなく、重症化しない、また、死亡するリスクを下げるためにも、接種のほうに助成をしていただきたい

なというふうには思っております。

恐らく近隣の市町等を見て、進捗状況を見ながら横並びにされるのかなというふうには思っておりますけども、そこはしっかり検討を行っていただいた上で結構ですので、検討いただければと思います。

重ねてになりますけど、RSウイルス感染症があること、感染すると肺炎にかかるリスクが高まること、任意ではありますが、ワクチン接種という選択肢があるということの情報発信はお願いしておきたいと思います。

以上で一般質問を終わります。

.....

○議長（金元 正生君） お諮りします。ここで休憩したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） 異議なしと認めます。したがって、11時15分より再開します。

午前11時05分休憩

.....

午前11時15分再開

○議長（金元 正生君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問を続けます。4番、岡山栄蔵議員。岡山議員。

○議員（4番 岡山 栄蔵君） 4番、岡山栄蔵でございます。

今回の質問では、大きく2点。

まず1点目に、交流人口・関係人口の観点で、日出町の一大イベントである城下かれい祭りについて、2点目に、全国的に少子高齢化、人口減少が急速に進む中、新たに安部町政が発足し、人口増加を目標に掲げている新町長のビジョンについて、この2点を順次質問いたします。

質問している側が期待できる、そして町民の方がわくわくできる答弁をお願いしたいと思います。

はじめに、城下かれい祭りについて、5月10日、11日に行われた城下かれい祭りは、第40回という節目もあり盛況に終わりました。この2日間、多くの職員の方に駐車場整理や困っている方の対応などをさせていただきました。無事に2日間を終えたことを改めて感謝を申し上げます。

私も開会行事の後から2日間、地域団体の一員として出店し参加をいたしました。この2日間、会場内のほとんどの店舗で買物をした中、一部の出店者、そしてまた狭い町ですから、関係者がたくさんいる中で、いつもと変わらない、何か楽しいイベントをしてほしい等、マンネリ化の声

が気になる声も上がっていました。さらに今回は、城下かれい賞味会中止ということもあり、非常に残念なお声もお聞きしました。

町の一大イベントである城下かれい祭りの今後について、まずは町長の所見についてお伺いしたいと思います。

○議長（金元 正生君） 町長、安部徹也君。

○町長（安部 徹也君） それでは、御質問にお答えいたします。

今回、私は主催者側として2日間、城下かれい祭りに参加させていただきました。所感とすると、思っていた以上に皆さんが楽しんでいただけたのかなというような感想を持っています。

初日、非常に天候のいい中で、地元の歌手の方がコンサートを開いたんですけれども、やはり毎年このコンサートに参加するのをすごく楽しみにされているファンの方がいらっしやいまして、中には、町外、大阪から遠路はるばるやってきた方もいらっしやって、非常に喜んでいらっしやいました。

また、夜、花火のほうでも、私のほうで挨拶をさせていただいたんですけれども、初めて城下で、近くで見たんですけれども、私、普段いつも日出の端っこのほうに住んでいるものですから、端っこのほうから見ると音楽とかは聞こえないんです。ただ、今回、音楽と花火のコラボレーションというか、非常に感動的な花火で、やはり花火が終わった後、皆さんからすごく感動的な花火だったねというようなお声を頂戴したところでございます。

また、2日目については、午前中は天気はもったんですけれども、午後、ちょっと雨になりました、あいにくの天候だったわけなんですけれども、すみません、まだ1日目忘れているのがありました。1日目、また、子供たちの魚のつかみ取り大会がありまして、私も会場に足を運んだんですけれども、定員が80名でしたか、そういった80名の定員に対して、恐らく300名を超える子供たちが参加されて、できればこういった参加したい子供たち皆さんが参加できるようなことができたかなというふうにも思ったところでございます。

2日目につきましては、これまた日出町出身の方が舞台をやられまして、非常にまた根強いファンの方がいらっしやっておりました。そういうことを踏まえると、マンネリ化したというお声もあるんですけれども、先ほど岡山議員がおっしゃったように、賞味会、これが中止になって残念だというお声があるということで、やはり今後は、変えられないもの、そして変えたほうがいいもの、こういったものをアンケートも取っておりますので、そういったアンケートを参考にしながら、より多くの方が楽しめるお祭りにできたらいいんじゃないかなというふうに思っているところでございます。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（４番 岡山 栄蔵君） ありがとうございます。

また、今、申し上げたところの詳細はまた後ほど聞きますが、関連して、冒頭申したように、交流人口、関係人口の観点で見ますと、関係人口は、日出町に訪れたことにより、風土や暮らしに共感して、コミュニティに溶け込み、地域の課題にも積極的に関わろうとしてくれる主に町外、県外在住者であり、継続的に町内を訪れて親交を深めることにより、地域のにぎわいや活気を呼び起こすことができます。

こうした関係人口の拡大によりネットワークを広げ、多様な人材が地域づくりに参画することは、現在の日出町には非常に重要であると考えますが、この交流人口、関係人口について、町長はどのようにお考えでいるかお知らせください。

○議長（金元 正生君） 町長。

○町長（安部 徹也君） 御質問にお答えいたします。

今、国のほうでも、こういった交流人口、関係人口を非常に重要視して推進しているところでございます。また、ふるさと登録制度みたいなものも始まるというふうに向っているんですけども、この交流人口、関係人口というのは非常に重要なものでして、日出町の人口というのは、今、２万８千人弱となっております。ですから、日本の市町村においては、非常に人口の少ないほうの市町村になるというふうに考えておりますけれども、こういった例えば日出町にいらしていただける方々、この城下かれい祭りであったりとか、ハーモニーランドであったりとか、日出町は年間に多くの方が足を運んでいただいているところでございます。こういった交流人口を増やすことによって、日出町の経済の活性化につながる、日出町の事業者の皆様の売上げアップにつながるということで、こういった交流人口をしっかりと今後増やしていくというのは、重要なことだと思いますし、関係人口、日出町に足を運んでいただかなくても、日出町の外から日出町のファンになってもらって、いろんな支援をしていただく、これは、現在、ふるさと納税という仕組みもございますけれども、こういった関係人口を増やしていくことによって、日出町のファンづくりをすることによって、ふるさと納税が増えていく、そしてまたこういった関係人口、日出町のファンづくりを行っていくことによって、よりさらに多くのファンが増えて、この関係人口がいずれは交流人口になって日出町を訪れて、また経済的な効果をもたらすということも考えられますので、今後しっかりとこの交流人口、関係人口を増やしていきたいというふうに考えているところでございます。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（４番 岡山 栄蔵君） 次に、問いの２番、②です。

第４０回の節目で町が取り組んできたこと、これまでの反省など、今回改善してきた内容とい

うのがどういうことがあるかお知らせください。これは担当課で結構です。

○議長（金元 正生君） 坂西和宏まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（坂西 和宏君） お答えします。

城下かれい祭りは、地域の特産である城下かれいの認知度を高めることを目的としてこれまで開催してまいりました。その結果、関係者の皆様の御尽力により、一定の知名度とブランド価値を有する魚種へと成長し、祭り開催当初の目的はおおむね達成されたものと認識しております。

一方で、近年は資源環境の変化により、特に本年は城下かれいの漁獲量が大きく減少しており、実行委員会においては、開催の可否も含めた協議を重ねてまいりました。その結果、第40回目という節目の今回は、従来実施していた城下かれい賞味会を見送り、城下かれいの価値を次の代へ継承することを新たな目的として、祭りの形を見直した上で実施するに至っております。

なお、これはいわゆる改善点というより、開催の意義を再構築したものでありますが、併せて、安全対策にも例年以上に注力して、多くの来場者に安心して楽しんでいただけるよう準備を整えてまいりました。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（4番 岡山 栄蔵君） 開催の可否も審査したということなんですが、先ほども申し上げたとおり、マンネリ化したという声がやはり出ています。もちろん実行委員会の会議等でも、そういった話題は出たのではないかなと思いますが、先ほど町長のほうからマンネリ化については少しあったので、担当課として、このマンネリ化についてどのように受け止めますか。

○議長（金元 正生君） 坂西課長。

○まちづくり推進課長（坂西 和宏君） お答えします。

内容の刷新、見直しも大切だと思うんですが、何よりも地域の個人や各団体の皆様の御協力により支えられているお祭りだと考えます。地域の連携を深める大切な場でもあると思っております。その意味でも、毎年継続自体にも大きな価値があると思っております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（4番 岡山 栄蔵君） この先ちょっと関係あるんですけども、実行委員の組織編成というのは、どういった方が入られているのかお伺いします。

○議長（金元 正生君） 坂西課長。

○まちづくり推進課長（坂西 和宏君） お答えします。

16名になっています。会長としましては町長、それから3団体、漁協、商工会、JAさん、それから、具体的に区長会、教育委員会、警察の方、あと料理屋の方等16名です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（４番 岡山 栄蔵君） 実行委員会の編成というのは考えていないんですか。というのも、こういったイベントのマンネリ化の要因としては、やはり毎年同じような中身、２日間あって２日間のイベントの中で、中だるみがあったりとか要因はたくさんあると思われます。解決策の王道としては、これまでと全く異なるコンテンツを用意するとか、ユニークなアトラクションを用意するとか、いろんな策はあると思います。

先ほど課長が説明していただいたように、今回の実行委員の協議内容では、可否をどうするか、開催するかしないかという審査まであったというようなことで、非常に後ろ向きな意見が多いように思います。

今後、組織の編成、また新たな組織づくりというのは考えているのか、その辺をお伺いします。

○議長（金元 正生君） 坂西課長。

○まちづくり推進課長（坂西 和宏君） 会議におきましては、皆様、前向きに捉えていただいていると思います。現メンバーにおられる中で、あなたは要りませんよとか、こちらからなかなか言えるものでもないと思います。皆様、前向きに協議していただいているものと思います。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（４番 岡山 栄蔵君） ちょっと誤解があるようなんですけど、僕は替えてくださいじゃないんです、あくまでもマンネリ化という声を聞いたから、イベントの中身を変えていく上で新たな人を入れて、特に若い方を入れて斬新な意見とかを聞きながら、楽しいイベントをつくったほうがいいんじゃないかという思いでちょっと聞いただけなので、決して替えてくれとかそういった意味じゃないですので、その辺は言っておきますね、一応。

次に、３番目の③です。予算面では昨年と変わっていないようでした。予算編成の時点で例年と変わらないイベントを想定したのか、その辺をお伺いします。

○議長（金元 正生君） 坂西課長。

○まちづくり推進課長（坂西 和宏君） お答えします。

城下かれいの次世代への継承、別府湾の環境保全、城下かれいの育成を意識した催しを企画し、「食す」から「育む」へ方向性を転換して行いましたが、先ほども言われているとおり、一方で、例年出演いただいている地域ゆかりの団体や個人の方々については、継続的な地域交流の観点から今年も出演をお願いした部分もあり、全体として例年と大きな差、違いがないように映る面があったかもしれません。

しかしながら、今回は魚のお兄さんなどを新たにお招きし、魚のクイズショーを実施、また、アンケート結果による意見を反映した新たな試みも行うなど、皆様に楽しんでいただけたと思っ

ております。

また、昨今の物価高騰もあり、同じ予算内で内容を大きく刷新するのが難しいことも御理解いただければと思います。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（４番 岡山 栄蔵君） 今、説明いただきました「食す」から「育む」へ方向転換したとありましたが、今回のパンフレットを見たら、昨年と違って小っちゃく上のほうに書いていたんです。「地域の宝を育もう！」。私もずっと２０年近く参加しているんで、パンフレットとかそういうチラシはいつも見ているんですけど、今年初めてそういった内容が書かれていて、賞味会が中止ということもあって、方向転換したなというのは自分もすぐ分かったんですが、ＰＲといいますか、そういった告知関係、ＳＮＳも含めた告知というのは、今回は力を入れていないように思えたんですけど、担当課としてはこういった形で告知をしていったんでしょうか。

○議長（金元 正生君） 坂西課長。

○まちづくり推進課長（坂西 和宏君） お答えします。

例年どおりに告知を行っておるので、そのようにひょっとしたら映ったのかもしれませんが。そこはもう御指摘のとおりかもしれません。告知が弱かったと言われればそれまでかなと思います。以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（４番 岡山 栄蔵君） もう終わったんですけども、４０回という節目でしたので、もうちょっと何か大々的にやったほうがいいのかなというのは自分の感想です。

先ほどの答弁で、アンケート結果による意見を反映したと先ほど課長のほうは言ったんですが、こういった意見を反映して新しい取組を行ったのか、その辺を教えてください。

○議長（金元 正生君） 坂西課長。

○まちづくり推進課長（坂西 和宏君） お答えします。

昨年度、稚魚の放流に参加できなかったというような声をいただいております。ですので、今年はアンケート結果を踏まえた取組としましては、カレイの稚魚放流について、中間育成施設での開催時間を延長した、それから、来場者全員が放流体験できるように改善をしております。

それから、漁船クルージングにおいても、船の上から稚魚放流を体験できるような形で実施しております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（４番 岡山 栄蔵君） また新たな取組を行ったということは理解しました。

関連して、もう1点、先ほどの関係人口に関わるんですが、地域おこし協力隊という事業がありますよね。都市から地方に移住して、地域ブランドや地場製品の開発、販売、PR等、地域おこし支援や農林水産業への従事、住民支援などの地域協力活動を行いながら、その地域への定住、定着を図る取組は、町でもこれまで行ってきたと思います。

地域においては、移住者、若者による斬新な視点に加え、協力隊員の熱意と行動力が地域に大きな刺激を与えるメリットがあります。

町においても、行政では手が回らない柔軟な地域おこし策のほか、住民が増えることによる地域の活性化などの効果が見込まれる事業です。

今回、ちょうどいいタイミングで今定例会の補正に地域おこし協力隊事業620万ほど上がっていますが、町の魅力や各種イベント、行事を発信するには、今やSNSに精通した若者の力が必要不可欠だと思います。こういった方々を各種イベント、行事を発信するために起用する考えというのはありませんか。

○議長（金元 正生君） 坂西課長。

○まちづくり推進課長（坂西 和宏君） 本年度、当初予算で1名分の地域おこし協力隊を計上しておりまして、6月補正でも1名分予算計上させていただいております。それに加えて、350万円のプロモーションというか、協力隊を獲得するためのような、委託だったかと思うんですが、そういう予算も計上させていただいております。

そういう方の配置につきましては、自由な発想で、どういうふうにも使いようがあるというか、アイデア次第だとは思いますが、そういう方については、SNSや町の広報に従事していただければと思っただけの今回計上となっております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（4番 岡山 栄蔵君） 若い方の起用について、町長、どんなふうに考えていますか。

○議長（金元 正生君） 町長。

○町長（安部 徹也君） 御質問にお答えいたします。

まさに岡山議員のおっしゃるとおりで、これからは、行政においても非常に広報というのは重要になってきております。ですから、今回、日出町役場でも、広報広聴秘書係というのをつくりまして、広報にしっかりと力を入れていくということを考えております。

その中で、やはりなかなか役場の職員の方というのは、動画を使ったプロモーションであつたりとか、そういうところは不得手なところがあるので、議員のおっしゃるように、今後、予算2人分計上していますので、最低でも1人は首都圏からそういった若い方に来ていただいて、日出町のプロモーションに携わっていただくというふうに考えているところでございます。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（４番 岡山 栄蔵君） 町長も同じ認識ですので、ありがたいと思っております。

次に、この項目の最後４番、④番です。

特産品のカレイについて、今後どう対処するのかという質問ですが、これはまた町長に答えていただきたいんですが、様々な場面で城下かれいというワードは出てきます。単に城下かれい祭りだけの問題ではなく、もっと大きな非常に深刻な課題が最近出てきたと捉えています。

町長もトップセールスの企業誘致で全国を飛び回っていますが、行く先々で必ず出す、出てくるワードではないでしょうか。この件についても、まずは町長の所見を伺いたいと思います。

○議長（金元 正生君） 町長。

○町長（安部 徹也君） 御質問にお答えいたします。

実は、今朝７時１５分に深江漁港に行ってみりました。東京から開成高校の高校生が修学旅行で、今日、深江漁港で漁師飯を食べると。その後、漁船クルーズに行つて日出町を堪能するという、修学旅行にわざわざ来ていただきましたので、御挨拶に行つて、深江漁港の競りを見てきたんですけれども、今日、城下かれいが３尾ほど競りに出されていましたか。仲買の方が、今日は大体４，５００円で落ちたんで安いほうですと。１か月ぐらい前でしたか、聞いたら、やっぱり１匹２万円から３万円ということで、非常に、今、城下かれいが貴重なものになっております。

私自身も、今、議員がおっしゃったように、事あるごとに、今、名刺が非常にカラフルなんですけれども、その中に城下かれいのお造りの写真も入つて、名刺を渡した方に全て日出町の名産は城下かれいですということでお伝えして、また、日出町イコール城下かれいというものもプロモーションしているところがございます。

また、なかなか城下かれいが食せないということで、希少価値があるということで、やはり多くの方が興味を持たれるということで、６月に入つて第１週目でしたか、大分県人会があつたんですけれども、やはりその中で、非常に東京で活躍された方が、今度、日出町に行つて城下かれいを食べたいというお話をされていまして、今後もしっかり、またこの城下かれいにつきましては、できるだけ増やす努力をするとともに、引き続き、またプロモーションにも努めていきたいなというふうに考えているところがございます。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（４番 岡山 栄蔵君） 今の答弁、非常に期待ができる答弁というか、心強く思います。

近年は、２０１４年をピークに漁獲高というのは下がる一方で、日出町だけではなく県内、特に県北エリアは深刻な問題であると私自身考えております。閉会中の総務委員会では説明があつ

たようですが、広域型増殖場事業は平成４年から始まっており、現在は中間育成施設に緑色のＬＥＤを使用した新たな取組も行っていました。これ、資料の１番をお願いします。

この効果について、まず、担当課の課長、効果と予算的にどのぐらいかかったか教えてください。

○議長（金元 正生君） 麻生康弘農林水産課長。

○農林水産課長（麻生 康弘君） お答えします。

令和６年度末に緑色ＬＥＤ事業が実施されております。効果といたしましては、水槽中の環境を海底と同じような形にするということで、カレイ自体の活性化と、それと致死率の低下が上げられます。

すいません、事業費については、私はちょっと今データを持っていないので、申し訳ないのですが。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（４番 岡山 栄蔵君） その緑色のＬＥＤというのが、成長過程も１．６倍になるというデータも出ておるようです。

こういった取組もいいんですが、加えて、課題も非常に多いんです、こういう中間育成というのが。全国的にも施設養殖は高水温というのが非常に課題となっているようで、日出町の中間育成施設も同様な課題が考えられるのではないかと思います、今後どのような対策、高水温対策とかそういった部分を考えているのかお伺いいたします。

○議長（金元 正生君） 麻生課長。

○農林水産課長（麻生 康弘君） お答えします。

今、議員のおっしゃった問題というのが、カレイ自体が比較的低い水温を好む魚種になっております。お尋ねされたように、水温対策としては、例えば、今、取水している箇所が中間育成場から５０メートルほどのところなんです、そこを深い場所に持っていくとか、あと、去年、事業をちょっと実施したんですが、湧水が日出小学校沖とかに出ていますんで、その場所から取水する、または、今度は機械のほうなんですけど、水槽に入れる水に、チラーで冷却した水を入れるとか方法があるんですが、いずれもコストがちょっとかかり過ぎるということで、ＬＥＤの事業も、カレイの育成速度を若干上げて、夏の一番暑いときは避けるとか、そういった形で現状では対応を考えているところです。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（４番 岡山 栄蔵君） 今、対策等を述べていただきましたが、先日、私も行ったんです

けども、冷却水を出す装置、あれを県のほうから中古で頂いて、2機頂いたらしいんですけども、そのうち1機が壊れていると。だから夏の時期を避けるのはもちろん育成中の過程ではできるとは思うんですが、低水温を好むということがもう分かっているんで、その辺はコストは絶対かかるんで、その辺も実証実験というのはしたほうがいいんじゃないかなと思います。

そして、先ほど、個人的に中間育成施設に行ったとは申したんですが、そのときに、施設の担当者、その方と、あと県の振興局の方も来ていて、ちょっと今の状況等をお話ししながら、その担当者の方というのが非常に熱心に研究をされていて、成長過程の中で非常に強い個体をつくるんだという強い思いがあって、今、取り組んでいる内容とかも説明を受けました。

もちろん特産品のカレイですから、施設担当者の方だけではなくて、担当課としてほかに調査研究というのはもう十分されていると思います。今現在、陸上養殖の技術というのは非常に高くなっておりまして、日出町のカレイについては、体長十二、三センチになれば放流するとのことですが、魚体自体が20センチもあれば料亭などに提供できるかなと思われま。

日出町の中間育成施設での最大サイズというのは、どのぐらいまで想定しているんですか。

○議長（金元 正生君） 麻生課長。

○農林水産課長（麻生 康弘君） お答えします。

中間育成所での最大サイズは、12センチから3センチと考えております。15センチ以下では捕ることができないようになっておりますので、育てるのであれば15センチまでということになるかと思うんですが、それまでにかかる生産コストとか、あと、大型化にするためのコスト等が施設の許容量を考えるとちょっと難しいのかなと考えております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（4番 岡山 栄蔵君） 十二、三センチになれば放流する、その辺はもう分かっていることなんです。答弁的にはすごい後ろ向きな答弁というか、自分が聞きたかったのは、それ以上先、どのぐらいまで大きくなるかというのを聞いているんです。今言ったみたいに、十二、三センチになれば放流するだけじゃなくて、最大サイズというのもしやってみていないということではいいんですか。どの辺まで大きくなるという実験とか、実証はしていないということですか。

○議長（金元 正生君） 麻生課長。

○農林水産課長（麻生 康弘君） お答えします。

限界までは試したことがありません。ただ、現在、1年でやるサイクルで考えたときに、サイクリ的にはちょっと限界なのかなと思っております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（４番 岡山 栄蔵君） 最大サイズだという根拠がちょっと自分には伝わってこないんですが、青森県の中泊町という地域があって、その陸上養殖施設では、同じように先ほどあった緑色のＬＥＤを使用して、カレイの稚魚を１年で８００グラム、３５センチから４０センチまで成長させて、もうそのまま出荷しているそうです。もちろん、カレイでもマコガレイではない違う品種にはなりますが、日出町の間育成施設の今８つある生けすの中で、１つでいいんで、出荷できるサイズまで一度実証実験をやってみませんか。

○議長（金元 正生君） 麻生課長。

○農林水産課長（麻生 康弘君） お答えします。

試したことはないんですが、今、最大まで育成してからということで考えたときに、おおよそ２年かかると考えております。一応８つ水槽がありますし、基本的には４つぐらいしか今は使っていないんで、余った水槽でできるのであれば検討させていただきたいと思います。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（４番 岡山 栄蔵君） 先日、私も行って、空いている水槽があったから、ぜひそれやってほしいなとは思ったんですが、もちろん単独ではないですよ。県の振興局であったり、県北エリアの漁協も含めて、これは県北エリアの課題になっていますんで、日出町は日出町としてしっかり取り組んでいただきたいというのはあるんですが、その辺をまた振興局と相談しながらするというのは可能ですか。

○議長（金元 正生君） 麻生課長。

○農林水産課長（麻生 康弘君） お答えします。

現在、県と連携を取ってやっている事業が夏場だけの話になっております。それ以降、日出町独自で中間育成という形で大型種苗化しているんですが、県と連携を取りながらということであれば、そこも御相談を大分県のほうとしながらやっていきたいと思います。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（４番 岡山 栄蔵君） 町長、その辺どうですか。生けすも空いているので実証実験という形で、もちろん最大サイズ、２０センチか３０センチになるか分かりませんが、それをいきなり出荷してもブランドのあれが傷つけられるとかいう意見もあるかもしれないんですけども、一度そういった実証実験をして、もう大体やっぱり年間捕れる量というのは下がってきているのはもう分かっているんで、その辺も一度実証実験していくという考え、町長はどうですか。

○議長（金元 正生君） 町長。

○町長（安部 徹也君） 御質問にお答えいたします。

先ほども申し上げましたとおり、城下かれいというのは日出町の名産でありますので、それが減っているというのは日出町にとっても非常にゆゆしき事態だというふうに考えております。ということ踏まえましても、今、議員が御提案された実証実験、これをやっぱりしっかりやって、どう変わっていくのかというのを検証するのは非常に有効な手段だというふうに思います。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（４番 岡山 栄蔵君） ありがとうございます。わくわくしますね、それ。

次の質問なんですけども、安部町長に替わって、様々な形でいろんな協定を結ぶことが増えてきています。私も所管委員会外で伝わらない部分ももちろんあるんですが、日出町が誇る歴史あるブランド魚ですから、フットワークのよい町長がぜひ率先して、大学や企業、金融機関などとこのブランド魚を守る、そして育む協定を結んではどうですか。

○議長（金元 正生君） 町長。

○町長（安部 徹也君） 御質問にお答えいたします。

これは多分３月議会でも、この陸上養殖についてはお伝えしたと思うんですけども、例えば、九州電力が、今、豊前の火力発電所の跡地でサケを養殖して非常に成功しております。また、NTTも専門の陸上養殖の会社をつくって、高級魚を養殖するという事業に乗り出しているところでございます。

ですから、一般企業を巻き込んで陸上養殖をやるというのは、非常に私自身、御提案いただいたように有効な手段だと思いますんで、九州電力さんには一応お声がけはしておりますし、あとは漁協を巻き込んで、やはり私自身、稼げる漁業、これをどうしていくのかという課題もございまして、しっかり陸上養殖で稼げる漁業を実現していかなきゃいけないんで、これはやはり町の行政だけでは難しいというふうに思いますんで、先ほどおっしゃったように、大学、金融機関、そして一般企業、手を組んで稼げる漁業の実現に取り組んでまいりたいというふうに思います。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（４番 岡山 栄蔵君） ぜひ期待をしています。

今年初めの合同新聞の取材で前農林水産課長は、城下かれいは町を代表する特産物であり絶やしてはならない。稚魚のすみかの再生も進め、重要なブランド魚を守りたいと大変強い思いを述べられて記事にされていました。

この項目最後になりますが、町長と現課長の意気込みを述べていただきたいと思います。

○議長（金元 正生君） 麻生課長。

○農林水産課長（麻生 康弘君） お答えいたします。

城下かれいへの思いは、漁業者だけでなく、町民の中にも強いものがあると思っております。全国的に見ても、魚の漁獲量は10年前と比べて3割減となっておりますが、先人の方々の取組や現在の事業により、マコガレイについては漁獲量は2割程度の減とお聞きしております。城下かれいの歴史やブランドとしてのカレイ料理の一つを文化として承継していくことが、必ず日出町の漁業振興にもつながっていくと考えております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 町長。

○町長（安部 徹也君） 御質問にお答えいたします。

先ほども意気込みは述べたつもりだったんですけれども、またちょっと追加の意気込みということで。やはり城下かれいというのは日出町を代表するそういうブランド魚でございます。代々、天皇陛下も食するぐらいの、非常になかなか我々のような一般庶民には普段から食べられるような食材ではないんですけれども、やはり希少価値のあるそういう食材ということで、旅行に来られた方が食されるということでもいいのかなというふうに思っているところでございます。

その漁獲高が、今、非常に少なくなっているということでもございますし、やはり日出町の漁業というのが、もう今は壊滅的な状況になっております。ですから、何か起爆剤としてそういった事業に取り組まなきゃいけないというふうに思うんですけれども、しっかりまたこの城下かれいというのを中心に置いて、日出町の漁業の再興にこれから努めていきたいというふうに考えているところでございます。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（4番 岡山 栄蔵君） ありがとうございます。ぜひとも進めていただきたいと思います。

続いて、2項目めの質問。

○議長（金元 正生君） 岡山議員、少しお待ちください。

お諮りします。一般質問の途中ですが、ここでしばらく休憩したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） 異議なしと認めます。したがって、休憩します。午後1時10分より再開いたします。

午前11時54分休憩

.....

午後1時10分再開

○議長（金元 正生君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問を続けます。岡山議員。

○議員（４番 岡山 栄蔵君） 午前に引き続き午後も質問してまいります。

続いて、２項目めの質問です。人口ビジョンについて。

これまで多くの同僚議員が人口問題について過去に質問をしてきました。安部町政に替わり、まだ質問されていないようですので、改めて確認の意味も込めて質問をさせていただきます。

資料の２番目をお願いいたします。

これ、左側が県の人口推移を出しているグラフで、右側が町が出している人口ビジョンの推移となっております。

国立社会保障・人口問題研究所が令和５年１２月に公表した推計によると、地域別の推計において、大分県の人口は令和３２年に８４．１万人に減少するとされています。この推計において、日出町は令和２２年には２万４，２３０人となる推計が出されています。安部町長就任直後の取材では、人口３万人を目指すと公言しており、目標を掲げる以上、何かしらの目的があるのかと思います。

まずは、町長の人口ビジョンについてお聞きしたいと思います。

問いの１番、安部町政が発足し１年弱経過しますが、これまでの取組をお聞かせください。

○議長（金元 正生君） 町長。

○町長（安部 徹也君） 御質問にお答えいたします。

昨日、一般質問あったように、まず、私自身の一丁目一番地は企業誘致、働く場所の確保でございます。それに伴って、働く場所があれば人口も増えていくということで、まずは町内総生産１千億円、そして人口３万人を目指していくということで、昨日、答弁したところでございます。

やはり、今、日本は人口減少の時代で、昨年も大分県は１万人の人口が減っているというところでございます。また、１８市町村全て、今、人口が減少しているという中で、今のところ日出町は微減ということですが、もう既に２万８千人を割り込んでいるという現状の中で、３万人にするというのは、これは非常に難しいことだとは思いますが、しっかりとまた社会増対策、自然増対策、これを行って何とかこの第６次総合計画が終わる頃までには、人口３万人を目指していきたいと進んでいるところでございます。

私自身、選挙の公約で子育て支援に力を入れるということで、３つの無償化と３つのお祝い金、これをお約束しました。これまでやってきたことということでございますが、この公約の中で子育て支援ということでいえば、今年度４月からプレママ応援金ということで、妊娠が判明した世帯には追加の１万円のお祝い金をお渡しするという制度も開始しております。

ほかにも社会増という意味でございましたら、トップセールスでいろんな企業に企業誘致の件で話に行き、まだ今のところは主立った実績はございませんが、今後またこの企業誘致にもし

っかりまた力を入れて、社会増を目指していきたいというふうに思っているところでございます。

以上でございます。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（4 番 岡山 栄蔵君） 担当課として何か大きなくくりで何か進めてきたことがあれば、お願いいたします。

○議長（金元 正生君） 赤野公彦政策企画課長。

○政策企画課長（赤野 公彦君） これまでの取組といたしましては、町長が言いましたように、子育て支援というところで保育園等や放課後児童クラブの整備に取り組んできております。

また、雇用の創出ですけれども、川崎工業団地北側の造成事業を進めておるところであります。それから、移住定住の政策にも力を入れております。

また、今年度におきまして、今、4社ほど提携を結んでいますけれども、包括連携を締結しておりまして、企業等の民間の力を借りて事業を進めていきたいというふうに思っております。

さらに、タウンプロモーションに力を入れまして、午前中の話もありましたけれども、関係人口、そういったものを増やしていった、日出町のファンの獲得につなげていきたいというふうに思っております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（4 番 岡山 栄蔵君） ありがとうございます。

今、説明をいただいた中でも、大体のものが前町長の政策をそのまま引き継いでいるものがまだ多いのかなと思いますが、安部町長の公約といいますか、今、説明があった中で新たな何か施策というか、そういったものは入っているのでしょうか。

○議長（金元 正生君） 町長。

○町長（安部 徹也君） 御質問にお答えいたします。

新たな施策ということであると企業との包括連携協定、これを結んで企業の力を日出町、この行政の中に取り入れて経済発展を目指していくと。既に現状、3者間の連携協定を2回分、そして1社との連携協定を1回結んでいるところでございます。

また、タウンプロモーションという意味で、関係人口、日出町のファンづくり、こういったものを取り組むということで、午前中にもお伝えしましたけれども、広報広聴秘書係という新たな部署をつくって、またしっかり情報発信に今後努めていくと、そういう施策については私のほうで陣頭指揮を取って進めているところでございます。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（４番 岡山 栄蔵君） というのも、町長が所信表明でトップが替われば全てが変わりますとおっしゃっていました。町のかじ取りを行う上で、総合計画や人口ビジョンなど中長期的に進めていく事業がほとんどだと思います。もちろん既存の事業計画は前町長が進めてきた計画です。適時見直しを行っていると思いますが、今後どのようにして安部カラーといいますか、安部町政が始まっていますので、そういった色を出していくのかお伺いをいたします。

○議長（金元 正生君） 町長。

○町長（安部 徹也君） 御質問にお答えいたします。

今後どうやって私のカラーを出していくのかという御質問でございますが、来年の４月１日から、昨日も質問があったんですけども、第６次総合計画がスタートすることになります。

この第６次総合計画も、これまで総合計画というのは１０年で作っていったわけですけども、これからは、一応、町長の任期に合わせて４年、４年の８年で作るつもりでございます。その第６次総合計画の中で、昨日もお伝えしたような私のビジョン、これからスタートして、このビジョンをじゃあどうやって達成するのかというのを非常に分かりやすく、また皆さん方に総合計画ということでお伝えしていこうかというふうに思っているところでございます。

また、この総合計画に基づいて組織の再編も１２月にはやっていこうというふうに考えております。

ですから、この総合計画というのを立てるに当たって、今後、私のカラーを出していこうというふうに検討しているところでございます。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（４番 岡山 栄蔵君） 第５次総合計画後期基本計画が今年度までということですので、次の計画には思いっきり安部カラーが出てくるようなものになるでしょう。次の計画については、計画の説明時期に来たら、また一緒に協議をしてみたいと思います。

国が示している人口ビジョン、地方版総合政策策定に当たっての参考資料などを見ますと、人口ビジョンについては、まず人口動向を分析すること、そしてまた、将来人口の推計等を分析し、さらに、人口の変化が地域の将来に与える影響の分析と考察をすべきであると示されております。こういった参考資料を基に当初作成をされ、定期的に見直しや検討を行い、令和６年３月に改定されていると思います。前回の改定は令和３年です。

次の問いになりますが、②、これはどういったところを主に変えてきたのか、変えた理由、こういった事業や減少対策について、もう残り少しなんですけど、今後どのように具体的に変わっていくのかを教えてください。

○議長（金元 正生君） 赤野課長。

○政策企画課長（赤野 公彦君） 日出町の人口ビジョンにつきましては、一番最初に平成27年に策定をしております。その後、議員が申されましたように、令和3年6月に改定をしております。

そして、現在の第3期の日出町の人口ビジョンにつきましては、国がデジタル田園都市国家構想総合戦略を策定したことを踏まえまして、日出町においても、日出町デジタル田園都市構想総合戦略を改定することになりました。それに合わせて、その参考資料として、人口ビジョンも合わせて令和6年3月に改定をしたところであります。

改定の主な変更内容ですけれども、令和2年の国勢調査の最新数値が出ましたので、国勢調査の最新数値とともに、大分県等の推計を参考にしながら、日出町の人口推計をやり直したという形であります。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（4番 岡山 栄蔵君） 特に大きな改正ではなくて、数字や関係する計画の事業の変更に伴い改定を行ったということによろしいですね。

関連で、これも就任直後の8月26日の取材、先ほどの人口3万人を目指すというくだりと同じなんですが、先ほども町長が申し上げていましたが、町内総生産1千億を目指す、非常に高い目標を掲げていました。

資料の3番目をお願いいたします。

これが人口ビジョンの中にあつた資料なんですけども、コロナ前、一番右の縦ラインです。コロナ後が一気に下がっているんです。これも資料に書いているんですけども、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は4.2%減少したとあります。今後、町内総生産1千億を目指す具体的な政策等があれば、御教示いただきたいと思います。

○議長（金元 正生君） 町長。

○町長（安部 徹也君） 御質問にお答えいたします。

どうやって町内総生産1千億を目指していくのかという御質問でございますが、もともと日出町は町内総生産、テキサスが あつた頃は900億円ございました。ただ、テキサスが撤退した後、200億円、この町内総生産が下がって700億円まで落ち込んでいたわけですけれども、今、徐々に回復して、恐らく750億から800億円ぐらいまで回復してきているところだというふうに思います。

今後、これをどうやって1千億円にするかという、今、現状、テキサスの旧テキサスの工場の北側に、これも昨日御質問があつたんですけども、工場用地を造成しております。ここに工場を誘致しなければいけないんですが、どのような工場を誘致するかということになってくるん

ですけれども、いろんな選択肢はあると思うんですが、現状、熊本県の菊陽町でT S M Cの工場があり、菊陽町が非常に経済発展を遂げておるところでございます。

T S M Cというのは、半導体の前工程の世界ナンバーワンの会社でございまして、一方で、今、北九州の若松にA S Eという半導体の後工程の工場が建設されて、非常にまた北九州も経済成長が盛んになっております。

ということは、熊本と北九州、ここから半導体の前工程から後工程、このサプライチェーンができていますけれども、その中間にあるのが大分県でございまして、特に日出町は高速のインターからも近い、また、空港も近く、今、台湾との直行便も飛んでおります。ということは、非常に、今、日出町、そういった工場を誘致するには有利な条件があるんじゃないかということで、今後は一つの候補として、この半導体の中工程というか、中工程があるのかどうかちょっとよく分からないんですけれども、どちらかという、後工程寄りの工場を誘致できれば、またテキサスがあった頃のように100億、200億の経済効果があるんじゃないかなというふうに考えておりますので、できればこういった半導体関連の、今、世界的なブームを捉えて、日出町はそういう企業を誘致したいなというふうに考えておりますし、ほかにもいろんな、例えばふるさと納税を推進するという意味では、何か食品関連の工場、これを誘致してくれば、ふるさと納税との相乗効果も図れますので、ただ、やはりこの企業誘致というのはこちらからの希望だけではないと思いますので、しっかりまた先方のそういったニーズを捉えながら、経済効果のあるそういう企業を誘致していきたい、そして1千億を達成したいというふうに考えているところでございます。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（4番 岡山 栄蔵君） ありがとうございます。期待と心配と半々という気持ちではあるんですが、高い目標というのは否定はしませんが、目標を掲げて公言している以上は、しっかりと達成をしていただきたいと思います。私ども議員も、できる協力は幾らでもしたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

そして、次の問い③です。

町長は人口増加3万人を目標に掲げていますが、具体的な政策を説明していただきたいと思います。

○議長（金元 正生君） 町長。

○町長（安部 徹也君） 御質問にお答えいたします。

先ほど岡山議員からお話がありましたけれども、やはり人口動態、これをしっかり調査して、どうやって3万人に持っていくのかということを検討していかなければいけないというふうに考

えております。

日出町の場合、この人口動態、どういう特徴があるかという、日出町は高校までしかございません。18歳になったらもう大半の若い若年層が福岡を中心に大阪、東京、首都圏に出ていきます。そして、この若い人たちは、もうほとんどがこの日出町に帰ってくることはございません。

ですから、人口を増やすという意味では、この流れを止めなければいけないという高いハードルがあるんですけれども、そうするとどういうものが要かという、18歳から日出町で学べる高等教育機関が必要になってきます。専門学校であったり、大学であったり、少なくともこの高等教育機関、250人程度の定員であれば、その若年層が減らないということになります。

そして、この若年層、日出町で学んだ後に働ける企業があれば、そのまま人口はスライドしていきますんで、日出町からの人口流出を食い止めることができれば、あとは企業誘致による社会増、そして、今、恐らく年間200人ぐらい自然減がございますんで、これを社会増でカバーしていかなきゃいけないということになると思うんですけれども、ですから、非常に日出町の人口動態を分析すると、高いハードルはあるんですけれども、この抜けているところを何とか補って、人口を緩やかでも成長に導くような、そういうようなサイクルをつくっていければなというふうに考えております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（4番 岡山 栄蔵君） ありがとうございます。

担当課として、町が、今、行っている事業等がありましたら教えてください。

○議長（金元 正生君） 赤野課長。

○政策企画課長（赤野 公彦君） 町といたしましては、出生数を向上させるために、安全・安心な子供の居場所づくりの環境整備に取り組んでおります。

また、子育て世帯への経済的負担の軽減にも取り組んでおります。

また、仕事を創出するために、先ほども申しましたが、川崎工業団地北側の造成工事や企業誘致に積極的に取り組んでおるところであります。

また、社会増、そういったものを増やすためには、移住定住の促進が必要だと思っております。そういった関係人口等を増やす必要がありますので、タウンプロモーションの事業に取り組んだりとか、今回、補正にも上げていますけども、2地域居住の促進に取り組んでいきたいというふうに思っております。

こういったことを行いまして、できる限り日出町のほうに人の流れをつくっていくということをしていきたいと思っております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（４番 岡山 栄蔵君） ありがとうございます。

詳しい内容はちょっと時間がないですので、ちょっと割愛させていただきたいと思いますが、今、説明された事業は、町長が就任されて新たに行った事業なんでしょうか。

○議長（金元 正生君） 赤野課長。

○政策企画課長（赤野 公彦君） 大きな項目で伝えましたので、当然、今までもしてきたところであります。今後、町長の方針を受けまして、新たなプランを作成していきたいというふうに思っております。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（４番 岡山 栄蔵君） 前からあった事業ということですので、また先ほど言った安部カラーをどんどん出して、どんどんブラッシュアップしていただきたいと思っております。

次に、④番、最後の質問になりますが、過疎地域へ町主導で対策をすべきではないかという質問ですが、これは、令和６年第１回定例会で、前町長に対して行った質問と全く同様です。この辺も事前に町長のほうに確認をしていただきたいと言っておきましたが、町長、確認はしておりますか。

地域の特性を熟知している行政が、これからの政策を生かした方法で、町が宅地の開発をする考えはないかという内容です。

特に耕作放棄地が多い地域や人口が減っている地域、また、そういった地域は行事ができない、地区役の成り手不足など、行政が見過ごすわけにはいかない状況に現在なっています。

利便性などを考えれば限られた地域になりますが、町長の考えをお聞かせください。

○議長（金元 正生君） 町長。

○町長（安部 徹也君） 御質問にお答えいたします。

私が選挙のときからお伝えしていますように、この日出町、まず開発すべきは周辺部だということをお伝えしております。ですから、岡山議員のおっしゃったように、まずは周辺部のほうから開発をして、この日出町の発展を支えていくという考え方に私自身も共感しているところでございます。

また、土地開発公社による開発、日出町は非常に農地が多くて、しかも制限が非常にかかっております。これはなかなか民間の企業が手を出しにくいということで、この土地開発公社による開発、これは私自身は、町長に就任していろんな話がありますけれども、必須であろうというふうに考えております。ですから、土地開発公社、今ほとんどもう機能はしていないんですけれども、今後またこの土地開発公社を使って、日出町のまたそういう開発を行っていきたいという考えがございます。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（4 番 岡山 栄蔵君） 非常に前向きな答弁、ありがとうございます。

これも、この令和6年第1回の質問をしたときに、その当時まだ安部町長は議員だったので、これを2人で話したというのもあります。非常にその頃も町長は前向きな、ぜひそういうのを進めたいねという意見も言っていました。今後、こういった内容をもう少し調査していただいて、もっと前向きに本当に実現できるような調査を行っていただきたいと思います。

それと、前回のその質問のときに、財政課長の答弁では、民間の開発状況や住民ニーズ等を勘案しながら、関係課と研究してまいりたいと答弁されていましたが、その後の調査などを行いましたか。

○議長（金元 正生君） 河野明弘財政課長。

○財政課長（河野 明弘君） お答えいたします。

当時の課長がそういった答弁をしておりますが、私、今年2年目ですが、申し訳ありません。ちょっと関係課と特に協議を行っておりません。

以上です。

○議長（金元 正生君） 岡山議員。

○議員（4 番 岡山 栄蔵君） 前課長がこちらにいますので、相談をされて、しっかりと協議を進めていただきたいと思います。

未来への投資という観点で、いずれにしても子育て世帯の少ない地域ということですので、人口増、そして地域のにぎわいを増やすということを目的に、今、申した提案を実行する、しないは財政状況も関係しますので、今後、近隣市町村や先進地をしっかりと調査をされてください。

また、この質問は、まだもう3回ほどありますので、質問はまた繰り返したいと思います。

最後に、町長が所信表明で述べた町民の皆様のお声に真摯に耳を傾け、町民の皆様に寄り添い、この日出町を日本一誇れる町にしていきたい、町民の町民による町民のための町政という政治本来の本質に立ち返り、皆様の力を結集して、この町をもっともっとすばらしい町にしていく覚悟ですと述べられていました。

この一般質問も町民の声を反映している質問です。町長が就任されて、残りの任期1,188日です、残りは。自身が掲げた公約も大切でしょう。私ども議員の発言にもしっかりと耳を傾け、日本一誇れる町にしていきたいと思います。

以上で、一般質問を終わります。

.....

○議長（金元 正生君） 14番、森昭人議員。森議員。

○議員（１４番 森 昭人君） １４番、森でございます。本日最後の一般質問でございます。

昨日、今日と一般質問を伺っておりまして、町長、いずれにしても第６次総合計画、これから策定になるわけですが、今日もお話がありました１千億円を目指すということでありましたが、今日のお話はもう１０万、１００万のお話であります。

足元の政策をしっかりとやることが、計画のこれからのまちづくりについて成し遂げられるというふうに思っていますので、この町の足元の課題についてしっかりと考えていただきたいというふうに思っております。

それでは、今日の質問は３つ、なかなか私も議員生活を長くさせていただいておりますけれども、契約のことについては初めて一般質問、難しいんですよね。ちなみに勉強をして、調査も研究もしましたが、大変難しい問題であります。この問題に少しメスを入れて、考えていこうかなというふうに思っています。

また、それに関連した随意契約ということで、障がい者就労支援施設の支援についてということ、そして、最後にこれも少しお金がかかりますけれども、消防署の建て替えということで質問を進めていきたいと思っております。

それでは、まず第１問目です。

随意契約等の事務の改善ということで、御案内のとおり、大分市は令和４年７月のごみ収集運搬業務の指名競争入札における官製談合事件を受けて、今年度から予定価格の事前公表の対象に市発注の全ての業務委託と建設工事及び建設コンサルタント業務の随意契約を加えました。

これまでは同じような事件、事案が平成の終わり、二十何年だったか記憶していませんけれども、同じような談合事件が起きまして、大分市のほうで建設関係、コンサルタント含めて予定価格の公表ということでやっておりますけれども、今回、この事件を受けて、全ての業務委託と建設関係、工事とコンサルタント、予定価格を公表するということになりました。

しかしながら、また先月の２３日になりますが、昨年５月に市が発注した除草業務委託の指名競争入札で、非公開である予定価格を業者に漏えいし落札させた容疑で、市議会議員ら３人が逮捕されるという大変ショッキングな事件が起こっております。

これを機に、我が町の契約について透明性、公正性、そして競争性について、それらを含めた町の契約事務の在り方について、そして、とりわけ随意契約ということについてお話をしていきたいと思っておりますが、１番目、この大分市の取組についてどういうふうに捉えているか、これも契約のほうになりますかね、財政課、お願いします。

○議長（金元 正生君） 河野明弘財政課長。

○財政課長（河野 明弘君） お答えいたします。

大分市では、ごみ収集業務委託の入札をめぐる官製談合防止法違反事件を受けまして、３月

26日に、4月1日から全ての業務委託契約の予定価格を公表すると発表しております。

ちなみに日出町では、予定価格の事前公表の状況ですが、建設工事における一般競争入札及び指名競争入札のみとなっております。

大分市の取組についての御質問でございますが、入札業務における透明性や公平性の観点から、事前公表の範囲を拡大したとのことであり、また、業者が職員に対する予定価格を探る行為などの不正行為の防止が可能になる等のメリットもあります。

一方で、事前公表することで、談合が一層容易に行われる可能性があることや、積算能力が不十分な業者であっても受注する事態が生じることなどのデメリットも想定されます。

今回、大分市の取組についてでございますけれども、入札契約業務における大分市としての一つの姿勢を示したものであるというふうに考えております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 森議員。

○議員（14番 森 昭人君） 大分市の取組についての、今、デメリットも少しお話しいただきましたが、ちょっと日出町の現状をお聞きしたいと思います。今言う一般競争入札、建設関係、建設工事と建設コンサルタントについては、これはもう容易に積算ができますから予定価格が分かるんですけれども、それ以外、例えば業務委託、それから物品の購入、これについて少し、私、調査をしたんですけれども、一つは、例を挙げて、個別でちょっと申し訳ないなんですけれども、昨年の令和6年度第3次日出町健康増進計画、食育推進計画及び自殺対策計画策定業務委託、これが令和6年の当初予算なんです。364万7千円でこれ予算が組まれているんです。それで、これは一般競争だと思えるんですけれども、15者が一応参加をしながら10者が辞退をして、提出なしが2者、3者の入札ということで、この予算である364万7千円に対して、札が最高が454万なんです。最低の246万の札を出した業者が落札をしているんですけれども、この最低と最高の差が200万あるんです、200万。

当初予算からしても、これは100万以上違うわけです。となると、予定価格は一体幾らかということになるんです。予定価格は誰が積算をしたのか。こういった業務委託に関して何が一体正解なのかということで、議会としてはどこをどう考えれば適正な価格を見いだせるのかという疑問が湧くんです。

質問ですけれども、随意契約の分にも関連しますけれども、予定価格と当初予算の関連というのはどういうふうに、これを例に取ってもらっても結構なんですけれども、質問の内容、分かりますか。

それから、その件については後でお答えいただきますけれども、もう一つは、令和6年度業務用ノートPCの購入というのが入札が行われております。これはなかなか当初予算の中からどの

部分が幾らというふうなのを見つけるのはなかなか難しいんですけれども、結局6者で入札があって、最低額、入札価格が354万2,130円、細かい数字が出ているんですが、入札の札の最高額が649万8千円なんです。差額が300万ぐらいあります、上と下で。この予定価格はじゃあ一体誰が積算をして、どこを見れば私たちはどれを見れば正解なのか、適正なのかというのを判断ができないんです。これは監査委員が調べればできるかもしれないんですけれども、恐らく監査委員も知らないんじゃないかなと思う。

要は、最初の質問は、予定価格についてはどこで誰が適正を決めているのか、何がその予定価格が適正な価格なのか、これは安けりゃいいというものじゃないですよ。やはり適正な価格で業者さんにもしっかりと利益を出していただかなきゃならないので、その適正な価格が一体幾らなのか、それに対して、例えば5千万円以上であれば、議会が判断するわけなんですけれども、この予定価格、随契、下の質問も同じですけれども、予定価格についてどういう取扱いになっているのかお聞かせください。

○議長（金元 正生君） 河野課長。

○財政課長（河野 明弘君） お答えいたします。

まず、予算編成における当初予算での積算というところでお答えしたいと思います。

例えば、物品を購入する場合がありますと、各課がおおむね数者見積りを取りまして、その金額で各課のほうで、例えば3者あれば3者の平均額を出して、それから予算要求をするというような形が一つの例としては挙げられるかと思います。

実際、いざ4月に始まりまして、入札をするということになりますと、時期も違いますので、例えば今のパソコンの例で挙げますと、例えば、再度、年度が始まりましたら、また当初予算で取った、例えばその3者にもう一度見積りを取って、その金額からおおむね、例えば3者の平均価格を出して、それを例えば担当課として、まず契約検査室のほうにこの金額でということ予算要求が上がります。

最終的に、例えば入札の場合でありますと、財政課のほう、私のほうが町長のほうに予定価格調書という書類を持ていきますので、その際に、町長に予定価格を最終的には決めていただくという流れで進んでおります。

以上です。

○議長（金元 正生君） 森議員。

○議員（14番 森 昭人君） ですから、だから、今言った例に出した入札価格というのは、見積りを願えば見積りを出してくるわけですよね。その見積り自体が100万、200万、これが違うわけです。そこが問題なんです。担当課がするんでしょう。担当課じゃあもうできない部分はやっぱりありますから、そこはやっぱり財政のほう、契約検査室のほうがしっかりと監視す

るような体制を最終的には整えてくださいという質問をしているんですけれども、例えば、川崎工業団地の件をまた持ち出して申し訳ないんですけれども、この件についても、まだまだちょっと不満に思っている方もたくさんおられますので、このときは、当然、随意契約の金額、これは167条の2の1項の3号、4号、5号の適用で、3者随意契約、本来随意契約してはならないような物件なんですけれども、これは緊急の用に供するということで、随意契約になったんですけれども、この金額についてはどういうふうにしたのか。これ答弁できますか。

○議長（金元 正生君） 河野課長。

○財政課長（河野 明弘君） 川崎工業団地の3件の随意契約の予定価格ということでよろしいでしょうか。

これ、基本的に土木設計業務におきましては、都市建設課なりの土木職員のほうが土木積算システムから金額をはじき出すようにしております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 森議員。

○議員（14番 森 昭人君） これは恐らくそうじゃなくて、見積りだったと思うんです。

1者見積りという話だったんですが、それは違うんですか。

○議長（金元 正生君） 坂西和宏まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（坂西 和宏君） 議員おっしゃるとおり、1者の見積りでした。それに並行して、技師による町の計算書による設計だったかと思います。

以上です。

○議長（金元 正生君） 森議員。

○議員（14番 森 昭人君） ですよ。その辺がもう曖昧なんです。予定価格、我々が判断するときに、じゃあどれを信じたらいいのか、業者から出てきた後の見積りが正しいのか、積算が正しいのか。大きい工事になれば業務要求水準というのがありますよね。これこれやってそれに基づいて積算をしていくわけですけども、この緊急を要するようなものについては、やはり積算が間に合わなくて見積りを出してもらって、要するに2者見積りにするとか、3者にするとかそういう判断をもう担当課がするわけですよ、現状では。それじゃいけないということで、これから改善を求めるわけなんですけれども、あんまりしゃべると時間がなくなりますが、これ、随意契約に限って言えば公表はされていますか。

○議長（金元 正生君） 河野課長。

○財政課長（河野 明弘君） お答えいたします。

公共工事の発注見通し、入札及び契約の過程並びに契約の内容に関する事項の公表要領というのがございます。随意契約における公共工事について、予定価格が250万円を超えるものは契

約締結後、契約の相手方や随意契約の相手方を選定した理由等を速やかに公表するということになっておりますが、現時点では公表できておりません。

以上です。

○議長（金元 正生君） 森議員。

○議員（１４番 森 昭人君） 公表していないんですよね。どのネットで調べても分からない。担当課に言っても恐らく分からないですよね。

これは、法的には２５０万を超える随意契約を行った場合ですよね。これ随意契約を行った相手方を選定した理由についても記載するわけですよね。これ、何で今までやっていないんですか。

○議長（金元 正生君） 河野課長。

○財政課長（河野 明弘君） お答えいたします。

公共工事に関する随意契約につきましては、本来公表すべき義務が要領等で定められておるんですが、担当課、それから財政課についても、ちょっとその辺の認識が正直なかったのかなというふうに思っております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 森議員。

○議員（１４番 森 昭人君） これを機に、しっかりネットでも見られるように、町のホームページでも検索すれば出てくるように、今、公表されているのは建設関係と業務委託の指名競争入札、それから物品の指名競争入札が見られるんですけれども、この随意契約に限っていえば、２５０万円であろうが、幾らであろうが全く分からない。

結果は、随意契約に関していえば結果も分からない、予定価格も分からない。じゃ何が正しいのかと。その金額が本当に正しいのか正しくないのかというのが分からないんです。そこは我々が判断できるような形をぜひつくっていただきたい。随意契約に関してだけでも結構ですので、しっかりとその調整をしていただきたいと思っております。

最後、４番、同じようなことですが、随意契約、認定というか選定審査会というものをほかの町村、つくっているところがたくさんあります。契約の担当とは別に、課長さんたちが全部集まってとか、指名委員会みたいな形で別の組織で随意契約に関して、本来、契約というのはもう一般競争入札というのが原則ですから、原則じゃない随意契約については、やはりもっと透明性、公正性をはっきりとしなければいけないという観点から、そういった組織をつくっていただきたいというふうに思います。

町長、議員時代、議員になった年の１２月の第４回の定例会を覚えていますか。一般質問で、下水道関係の下水道の維持管理について、当時、東京都の水道局の談合事件を受けて、公取の立入検査を受けて、特定の企業ありきの随意契約を行っているのではないかと、随意契約は入札と

違って見積りに基づいて価格を決定するので、本当に妥当かどうか確実にチェックしていただきたいと、これ、議員になって1発目の質問、入札契約に関して質問しています。

これまでの話を聞いて、町長、見解をお聞かせください。

○議長（金元 正生君） 町長、安部徹也君。

○町長（安部 徹也君） それでは、森議員の質問にお答えいたします。

私、町長になって以来、この契約関係は全て決裁してきております。その中で、やはり随意契約というのは、これは本当にこの価格が妥当なのかということを常に、また、その随意契約をする際には確認しておるところでございます。

また、特にこの1者随契というのは、個人的に、私自身はもう問題があるというふうに考えておりますので、そういった随意契約がある場合には最低でも2者、それ以上の見積りを取ってから、本当にその随意契約する金額が妥当なのかということを担当者に伝えているところでございます。

また、しっかり今後ともこの随意契約につきましては、森議員がおっしゃるように、本当にその価格が妥当なのかというのが分からないところもございますので、私としても、しっかりまたこれをチェックしていきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 森議員。

○議員（14番 森 昭人君） じゃあその随意契約、選定か認定かの審査会、あるいは入札監視委員会であるとか、契約検査室が責任を持ってその辺の判断をする組織をまたつくるといとか、そういうことをやっぱり別の組織でチェックをしないといけないというふうに思っていますので、審査会の設置については、町長でも財政課長でもいいです。設置の検討をしていただけますか。

○議長（金元 正生君） 河野課長。

○財政課長（河野 明弘君） 随意契約審査会の役割といたしましては、契約の対象、金額、手続等を審査することで、公正性や透明性の確保につながることを考えられます。

一方で、審査会を開催することで事務手続が煩雑になったり、職員の事務負担につながることも、また、契約までに時間を要することも想定されます。

現状、全ての随契を審査するとなれば、ちょっと今の職員体制では非常に厳しいものがあると思われます。他市町村の状況等もまた確認させていただきながら、調査研究させていただきたいと思えます。

以上です。

○議長（金元 正生君） 森議員。

○議員（14番 森 昭人君） 別に全てと言っているわけではないんです。重要な随意契約に

ついて、審査ができる体制をぜひ整えていただきたいと。

実は、行財政改革第2次推進プランの契約事務適正化プロジェクトの目標というのも、これを出しているんです。2者以上の見積り、令和2年で14%を40%ぐらいにするかなんか目標を立てているんですけども、これ、今年度が行革プランの計画の最終年度ですけれども、また担当委員会のほうで達成状況なり調査をしていただきたいというふうに思っております。

また、随意契約については、またガイドラインがありますけれども、ぜひ事務契約規則にしっかりと織り込んでいただきたい。ガイドラインはそんなに法的に拘束力もあまりないのかなという気がしておりますので、しっかりと条例なり規則なり織り込んでいただきたい。他市町村に比べて随意契約の枠が小さいですから、読んでいただけると分かるんですけれども、その辺の見直しもぜひやっていただきたいというふうに思っております。

残りもう13分ということで、ちょっとしゃべり過ぎているので。

それでは、本日の質問のこれ本丸のほうに時間をかけたかったんですけれども、しっかりとしていきたいと思います。

それでは、2番目、障がい者就労施設への優先調達の推進ということで、平成25年4月に施行された国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律、いわゆる障害者優先調達推進法に基づき、日出町でも障がい者就労支援施設等優先調達方針を定めていますけれども、これまでの町の取組をただして、持続可能な障がい者就労施設の運営と利用者の給与、工賃の向上に資すということで主旨を述べさせていただいておりますが、まず、先に2番目の日出町の調達方針についてということで、この障害者優先調達推進法、これ分からない方もいると思いますので、先にこちら説明をしていただけますか。

○議長（金元 正生君） 間部大介護福祉課長。

○介護福祉課長（間部 大君） 御質問にお答えいたします。

障がい者就労施設等で就労する障がい者や在宅で就業する障がい者の経済面の自立を進めるため、国や地方公共団体などが物品やサービスを調達する際、障がい者就労施設等から優先的、積極的に調達することを推進するため制定されたものです。

この法律では、障がいのある人が、就労によって自立した生活を送ることができるよう経済的な基盤を確立することや、障がい者就労施設等の仕事を確保することで、障がい者雇用を支援し、経営基盤を強化することなどを目的としています。

以上です。

○議長（金元 正生君） 森議員。

○議員（14番 森 昭人君） それでは、これは平成24年の6月27日に公布されて、6月27日が障害者優先調達推進法の日ということで、もう10年以上これ活動していますけれども、

それでは、この法律を受けての障がい者就労支援施設等優先調達方針、これについて説明してください。

○議長（金元 正生君） 間部課長。

○介護福祉課長（間部 大君） 御質問にお答えいたします。

障害者優先調達推進法第9条において、都道府県、市町村及び地方独立行政法人は、毎年度物品等の調達に関し、当該都道府県、市町村及び地方独立行政法人の当該年度の予算及び事務または事業の予定等を勘案して、障がい者就労施設等からの物品等の調達の推進を図るための方針を作成しなければならないとされております。

日出町においても、優先調達の対象となる施設や調達する物品、調達目標、調達推進の方法等について記載しており、町ホームページで毎年公表しています。

以上です。

○議長（金元 正生君） 森議員。

○議員（14番 森 昭人君） それでは、1番目の1番ですけれども、優先調達ということで、日出町のほうから発注をするわけですが、この各施設との契約については、それぞれ先ほど申し上げました施行令の167条の2の1項第3号に規定する特定随意契約の対象ということでいいでしょうか。

○議長（金元 正生君） 間部課長。

○介護福祉課長（間部 大君） 御質問にお答えいたします。

令和5年度実績における障がい者就労等との随意契約につきましては、いずれも地方自治法施行令第167条の2第1項第1号を適用しています。

理由としましては、第167条の2第1項第1号と第2号以下の各号のいずれかに該当する場合には、第1号が優先されるということになっております。

障がい者就労施設等からの物品、役務の調達であることから、地方自治法施行令第167条の2第1項第3号に該当するものの、令和5年度実績に掲げた契約につきましては、地方公共団体の規則で定める額——日出町契約事務規則別表に掲げる額になりますが——を超えていないため、先ほど申し上げたとおり、地方自治法施行令第167条の2第1項第1号を適用しているところ です。

以上です。

○議長（金元 正生君） 森議員。

○議員（14番 森 昭人君） 障がい者施設への発注ということで3号になるわけですが、これは少額ですから1号になるということになります。

それでは、令和5年度における障がい者就労施設からの物品などの優先調達の実績は、これは

13件、印刷、花苗、草刈りということで、総額114万2,840円、これ令和5年度です。
114万円となって公表されていますけれども、調達実績、この13件、各課ごとの契約締結状況をお知らせください。

○議長（金元 正生君） 間部課長。

○介護福祉課長（間部 大君） 御質問にお答えいたします。

調達実績の内訳につきましては、13件中、役務1件30万円、物品12件84万2,840円となっています。

詳細につきましては、介護福祉課が1件30万円、内容は、施設周辺除草業務になっております。健康増進課が4件60万8,680円、食育推進事業に係るステッカー、エコバッグ等の印刷物となっております。教育総務課が6件4万5,160円、花苗の購入、学校教育課が2件18万9千円、同じく花苗の購入となっております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 森議員。

○議員（14番 森 昭人君） 町長、この114万という金額はどう思いますか。

○議長（金元 正生君） 町長。

○町長（安部 徹也君） 御質問にお答えいたします。

この114万3千円という金額ですけれども、大分県下18市町村ありますけれども、この日出町の金額については下から2番目ということで、非常に低い水準だというふうに考えております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 森議員。

○議員（14番 森 昭人君） おっしゃるとおり、市と町の中ではもう最下位ということです。

最下位は姫島村なので、これはちょっと横に置けば、大分県内で最低の数字であります。

県も単独でこの部品調達、優先調達しておりますけれども、これ5年度の実績ですけれども、県単独が7,600万で、市町村になると、実績としては2億8,480万ぐらいです。もう3億円近い金額が大分県の市町村が優先で物品を流しているということ。この中で、大分市は別にして、先ほど申し上げましたように、日出町よりも人口が少ないところがあるんです。そこよりも圧倒的に少ない状況です。

これ、何が原因かなというふうにいろいろ考えるんですけれども、やっぱり担当課が率先してリーダーシップを取ってやるべきことができていないのかなと。従来のやり方を踏襲して出すけれども、去年と一緒だからまた今年もこの金額でこの金額でというふうになってきていると思うんですが、法でいえば、方針もそうですけれども、これは発注見通しを出すようになっているん

です、毎年。この金額を出しますと。支援施設に出しますと。これ発注見通し、されていますか。

○議長（金元 正生君） 間部課長。

○介護福祉課長（間部 大君） 御質問にお答えいたします。

先ほど申し上げたように、地方自治法施行令第167条の2第1項第1号の少額随意契約に該当するため、現在のところ公表はしていません。

以上です。

○議長（金元 正生君） 森議員。

○議員（14番 森 昭人君） 契約としてはそうですけれども、この方針の趣旨とは全く違いますよね。なぜ方針を出すかという、施設のほうがこのくらいだったらできる、これはできないというような選定ができるんです。じゃあこれができるためには設備投資をして、施設をもう少し大きくしようとか、これによって利用者の方の工賃が上がる、給料が上がるというような目標も立てられるんです。契約が少額だから、契約のほうの法律に則ってやるんだと、方針には従わないということじゃ、もう金額が全く増えないんですよ。

他市町村、例えば大分市を見ると、大分市はもう1億以上やっているんですけれども、大分市と日出町の方針を少し比べてみると、調達の推進方法というのがあるんですが、これ日出町もあるんですけれども、日出町は、この調達方針の担当は介護福祉課障害福祉係とし、障がい者就労施設等が供給可能な物品等について情報を収集し、情報提供を行うものとする。このたった2行なんです。調達目標についても、目標額は設定をしていないんです。

ほかの市町村は全て目標額を設定しています。毎年毎年方針をつくっていくんですけれども、毎年の方針に前年度の額を上回る額をしっかりと目標額として提示している。実際にその金額を上回っているんです。しっかりとその方針に則って、熱意を持ってやっているんです。

少額だから、これ80万か。今はもう100万になっているのかな、少額の規定が。契約でこうだからという話じゃやっぱり金額が伸びていかないし、趣旨にも全く反していると。ほかのとはこの調達方針について、5項目ほかに項目をつくっている。また調べてみてください。

条例とか方針は全くまねしても構わない、これ知財法に関連しないので著作権はありませんから、全くまねしてもいいと思うんですが、何でこういうことになっているのか分かりますか。目標額も設定されていなければ、方針についても、こんなたった2行でやってもやらなくてもいいような状態、今がその最たるもので、契約について少額だからしょうがないんだよという話じゃ悪いわけですよね。何でこういうふうになっているのか。課長に聞くのもちょっとかわいそうな気がするんですけど、どうですか。

○議長（金元 正生君） 間部課長。

○介護福祉課長（間部 大君） 御質問にお答えいたします。

日出町でも、令和4年度まで前年度の実績を基に目標額を設定し公表しておりました。ただし、令和5年度に調達方針の見直しを行った際に、具体的な目標ではなく、先ほど議員がおっしゃられた過去の実績にとらわれず、発注可能なものについて積極的に発注するといった文言に変更をしています。

なお、令和7年度の調達方針においては、具体的な目標値を記載するよう改めることとしております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 森議員。

○議員（14番 森 昭人君） 過去の実績にとらわれて発注可能なものについて積極的に発注していない状況だったということでしょうか、改めましてしっかりとやっていただきたいというふうに思います。

町長、この件について御所見を伺います。

○議長（金元 正生君） 町長。

○町長（安部 徹也君） 御質問にお答えします。

私も議員の頃から、この障がい者の特に就労継続支援事業については、いろいろと取組をしてまいりました。現状、日出町では、就労継続支援事業B型の事業所が8事業所ございます。A型が3事業所と。この中で、この障害者優先調達推進法によって、いろんな事業をお願いできる先が、就労継続支援事業A型では1事業所で、B型では6事業所ございます。

特に私、問題なのは、B型の月額賃金だというふうに議員の頃から考えておまして、これは令和5年度の実績なんですけれども、この8事業所の月額の平均賃金が2万9,029円ということになっております。この2万9,029円で障がい者の方が自立できるかという、まず自立はできないというふうに考えております。ですから、町としましても、この月額賃金をいかに上げていくのかということに真剣になって取り組む必要があるというふうに考えております。

その中で、この障害者優先調達推進を使って、町が直接そういった事業所の売上げに貢献していくというのは当然でございますし、ここはしっかり目標を立てて、各事業所がやっている内容がもう様々ですので、様々な発注になると思うんですけれども、しっかりまた目標を立てて、1千万なら1千万、そういう形でまた障がい者の自立を支援していくことは非常に重要だというふうに考えておりますし、また、それ以外でもしっかりと、この事業が付加価値が高くなるように、そういったこともしっかりと取り組んでいきたいというふうに思っているところでございます。

以上です。

○議長（金元 正生君） 森議員。

○議員（１４番 森 昭人君） まとめていただきましたけれども、ぜひこの優先調達推進会議みたいなものをつくって、全庁を挙げて、課長さん方が次年度予算編成するときにしっかりとその方向性を出して、施設、事業所のほうにお示しをするというようなことができればなというふうに思っています。ぜひそういった会議をつくっていただきたい。

今回、この質問をするに当たって、私も事業所を調査いたしました。アンケートを取りました。その施設は、今まで町のほうからそういう紹介もないし、現時点で町からの受注は一切受けていないと。そういうことです。そういう事業所がほとんどだと思います。

ずっと同じことを繰り返してきていますので、今回、質問に関して、課のほうでも調査をしたみたいですが、事業所の回答みたいなものはありますか。どういった要望があるかとか、調査されたということですかね。

○議長（金元 正生君） 間部課長。

○介護福祉課長（間部 大君） 御質問にお答えいたします。

今回の議員さんの御指摘を受けまして、町内の障がい者就労施設等に対して、優先調達の対応可能な物品、役務等の聞き取り調査を実施したところです。

聞き取りをした結果、おおむね優先調達について積極的な回答をいただいたというふうに聞いております。

以上です。

○議長（金元 正生君） 森議員。

○議員（１４番 森 昭人君） よく庁内の調整をして、各事業所と連携を取りながら、ぜひ就労支援Bもそうですけれども、お給料、工賃が向上するように取り組んでいただきたいというふうに思います。よろしくお願いします。

それでは、残り３分となりまして、ベルもちょっと聞きたいような気もするんですけれども、３分で終わらしたいと思います。

消防署の建て替えですけれども、令和４年、令和５年の一般質問でも前町長にしたことがあります。ちょっと趣旨を読ませていただきますが、昭和５８年に竣工した日出消防署は築４０年以上が経過し、老朽化、狭隘化、当直環境の不備など、消防力に直結する深刻な課題を抱えている。議会でも再三取り上げてきたにも関わらず、対応は一向に進まず、従来の執行部の姿勢が、今、問われているということ。副管理者でもある新安部町長には、これまでの停滞を断ち切り、消防署建て替えに向けた具体的な取組を速やかに進めるよう強く求めていくという趣旨で質問をさせていただいております。

画像提供ということで書いておりますけれども、ちょっと諸事情がございまして今回はお見せいたしませんけれども、現在の日出消防署、これ私もまた先般、先月、行ってきました。相変わ

らず、当然、前回、令和4年、令和5年の状況と全く変わっていないくて、一番気になるのは、やはり雑魚寝しているんです。吹き抜けた部屋に畳の台があって、そこに当直、宿直の署員が雑魚寝をしていると。そこがいっぱいだったコロナ禍の時代には、署長室にベッドを持ち込んだり、ほかの部屋に簡易のベッドを持ち込んでそこで休んでいたたりしているんです。

それに加えて、今の状況では消防活動の動線も悪いですし、トイレも和式のままなんです。乾燥室もちゃんとしたものがなければ、装備を置く倉庫も動線の中にないわけで、狭いところに全部荷物を押し込んでいると、装備を押し込んでいるというようなそういう苛酷な状況の中で、日夜、署員の皆さんは日出町の安心・安全のために頑張っているというところであります。

また、大災害が懸念される中、一刻も早くこれは何とかしてあげるといのもおかしいんですけども、何とかしなければならぬ。山香署が新しくなったこの状況の中で、やっぱり次はもう日出町だということで、署員の皆さんもそうですけれども、町民の皆さんもそういうふうになっているというふうに私は思っております。

それで、2番目ですけれども、日出町内で幹線道路沿いの建て替え用地を新たに確保するのは非常に困難であると考えます。したがって、適切な場所に仮の消防庁舎を建設した上で、現在地に3階建ての新庁舎を建設するのが最適だと判断をしております。

しかしながら、現時点では建て替えの方向性すら示されていない状況で、速やかに検証チームを立ち上げ、消防組合と調整を図りながら、事業費や建設候補地、仮設候補地などの調査研究を行い、新庁舎完成に向け今後しっかりスケジュールを立て、実質的な議論をしていくべきと考えております。

これはもう町長の見解だけで結構です。よろしくお願いします。

○議長（金元 正生君） 町長。

○町長（安部 徹也君） 御質問にお答えいたします。

この日出消防署の建て替えの問題については、これは私、3年ほど前まで消防議員でしたんで、もうその頃からの課題で、なかなか進んでないものだというふうに思います。

なかなか代替地の問題であつたりとか、財源の問題であつたりとか、クリアすべき課題はたくさんあるというふうに思います。ただ、やはり森議員が現地を視察され、私も現地を視察して思うところは、これはやはり早急に建て替えていかないと、日出町の安全・安心を毎日守っていただいているそういう消防署員の皆様の職場環境、これは整えていかなきゃいけないと、最優先課題のうちの一つだというふうに考えているところでございます。

なかなかちょっとどういうふうにするかというのは、これは日出町だけでは決められない問題なんですけれども、土地を用意するのは日出町になりますんで、今、森議員がおっしゃったような案が、これが最善であれば、またこの案をまた消防議会に提出して、建て替えということにな

ると思います。

3年前に山香の出張所が建て替えられて、女性の部屋も整備させていただきました。ようやく今年度から女性の消防署員が初めて入ったところでございます。しっかりまた日出町の日出消防署においてもそういった個室、女性の部屋、そういった職場環境を整えて、快適に日出町の安心・安全、これを守っていただける環境を一日でも早く整えたいという思いが、私の今の偽らざる思いということでございます。

以上です。

○議長（金元 正生君） 時間の関係上、取りまとめのほうをまた森議員、お願いいたします。森議員。

○議員（14番 森 昭人君） いずれにしても、耐用年数がもう来るんです。あと7年か8年か、鉄筋コンクリートですから。それまでにということになると、まだ七、八年先になりますから、それを待たずにしっかりと副管理者として、また日出町の町長として問題に取り組んでいただきたい。この足元の問題を4年後、8年後ではなくて、今のこの現実の問題をしっかりと取り組んでいただきたいと思います。

以上で終わります。

○議長（金元 正生君） これで一般質問を終わります。

散会の宣告

○議長（金元 正生君） 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

本日はこれで散会したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（金元 正生君） 異議なしと認めます。したがって、本日はこれにて散会することに決定いたしました。

これで散会します。御苦労さまでした。

午後2時22分散会
